

第四次
守谷市子ども読書活動推進計画
(案)
(令和4年度から令和8年度)

守谷市教育委員会

令和4年 月

守 谷 市 民 憲 章

わたしたちは、利根・鬼怒・小貝の清流と豊かな緑につつまれた歴史と伝統に輝く守谷の市民です。

この郷土を愛し、健康で明るく住みよい文化都市を目ざして、ここに市民憲章を定めます。

1. 水と緑に親しみ、自然を愛し、美しいまちをつくります。
1. 豊かな心を育て、体をきたえ、健康なまちをつくります。
1. 教育文化をたかめ、個性をのばし、うるおいのあるまちをつくりま
す。
1. 明るい家庭をきずき、きまりを守り、平和なまちをつくります。
1. 互いに助け合い、責任を果たし、生きがいのあるまちをつくります。

目 次

はじめに

第 1 章 第三次計画の成果と課題	1
1 第三次計画の取組	1
2 第三次計画の成果と課題	2
3 総括	1 4
4 第三次計画の行動目標実績	1 5
第 2 章 第四次計画の基本方針等	1 7
1 子どもの読書活動の意義	1 7
2 計画策定の趣旨	1 7
3 基本方針	1 8
4 計画の対象	1 8
5 計画の期間	1 8
6 計画の体系図	1 9
第 3 章 子どもの読書活動推進のための方策	2 1
1 乳幼児の読書活動の推進	2 1
2 小中学生の読書活動の推進	2 3
3 全ての子どもに対する読書活動の推進	2 7
4 家庭における読書活動の推進	2 8
第 4 章 方策の効果的な推進に必要な事項	2 9
1 推進体制	2 9
2 第四次計画における行動目標	2 9
資料編	3 4
1 子どもの読書活動に関するアンケート調査	3 5
2 市内子ども読書活動実施施設に関するアンケート調査	6 1
3 子どもの読書活動の推進に関する法律	7 8
4 子どもの読書活動の推進に関する法律に対する衆議院文部科学 委員会における附帯決議	8 0

はじめに

守谷市では、平成 19 年 3 月に「守谷市子ども読書活動推進計画」（以下「第一次計画」という。）、平成 25 年 2 月に「第二次計画」、平成 29 年 5 月に「第三次計画」を策定し、子どもがあらゆる機会と場所において、自主的な読書活動を行うことができることを目指してきました。ボランティアの協力によるおはなし会の実施等、子どもたちがおはなしや本に触れる機会を拡げてきました。令和元年度には、「わくわく子育て王国もりや」実現に向けた第一次学校教育改革プランが策定され、図書館と学校図書館が連携し、学校図書館の充実に取り組み、学校図書館の貸出数が増加しました。これらの成果の反面、近年の情報通信手段の普及・多様化により、年齢が上がるにつれ、読書時間の確保が難しくなり、不読率が上昇するという傾向が見られることも否めません。

令和 2 年 3 月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大により、図書館では休館やボランティア活動の自粛等、図書館サービスを縮小せざるを得ない状況がありました。感染症の拡大は、子どもたちの日常生活に大きな影響を与えたことは言うまでもありません。制限や制約が常態化し、ストレスを感じることも増えてきましたが、本を読んで物語の世界を楽しむ、家族で本を楽しむ時間を持つ等、読書の楽しみを感じる機会にもなりました。また、電子書籍の利用が増加しました。電子書籍を充実させることにより、情報通信機器を利用する世代が、読書を身近に感じられるようになることを期待します。

本計画では、第三次計画の成果と課題を踏まえ、関係各所が相互に連携し、子どもの発達段階に応じた効果的な取組を展開することにより、子どもの読書習慣の形成を目指します。更なる子ども読書活動の推進を図るためには、家庭・幼稚園・保育所（園）・学校、そして図書館が相互に連携協力して実施していくことが、大変重要になりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたり、多大なご尽力を賜りました関係者の皆様をはじめ、市民の皆様から貴重なご意見をいただきましたことに対し、深く感謝申し上げます。

子ども読書活動推進におけるこれまでの経緯

区分	時 期	内 容
国	平成 12 年	「子ども読書年」採択
国	平成 13 年 12 月	「子どもの読書活動の推進に関する法律」制定
国	平成 14 年 8 月	「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定
県	平成 16 年 3 月	「いばらき子ども読書活動推進計画」策定
市	平成 19 年 3 月	「守谷市子ども読書活動推進計画」策定
国	平成 20 年 3 月	「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（第二次）策定
県	平成 22 年 1 月	「いばらき子ども読書活動推進計画（第二次推進計画）」策定
市	平成 25 年 2 月	「第二次守谷市子ども読書活動推進計画」策定
国	平成 25 年 5 月	「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（第三次）策定
国	平成 26 年 6 月	「学校図書館法の一部を改正する法律（学校司書の配置等）」の改正
県	平成 27 年 3 月	「いばらき子ども読書活動推進計画（第三次推進計画）」策定
市	平成 28 年 6 月	電子図書館サービス開始
国	平成 29 年 3 月	幼稚園教育要領，小学校及び中学校学習指導要領の改訂
市	平成 29 年 5 月	「第三次守谷市子ども読書活動推進計画」策定
国	平成 30 年 4 月	「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」（第四次）策定
国	平成 30 年 5 月	「著作権法（教育機関における権利制限規定等）」の改正 「学校教育法（デジタル教科書使用）」の改正
市	平成 31 年 4 月	「わくわく子育て王国もりや」実現に向けた第一次学校教育改革プラン策定
国	令和 元年 6 月	「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法）の制定
市	令和 3 年	GIGA スクール構想によるタブレット端末整備
国	令和 3 年 5 月	「著作権法（図書館関係の権利制限規定等）」の改正

第1章 第三次計画の成果と課題

1 第三次計画の取組

「第三次計画」では、「第二次計画」の成果をベースに更なる子どもの読書活動の推進を図るため、大きく3つの柱を設定し取り組みました。

- 〔1〕 学校図書館のサービス充実
- 〔2〕 家庭，地域，学校における読書活動の充実
- 〔3〕 子どもの読書活動の理解を高めるための普及活動の継続

平成28年4月から平成31年3月まで指定管理者制度※1により，民間会社が図書館の運営を担っていました。

令和元年度から図書館が市直営の運営になったことに伴い，第三次計画で所管する課が変更になりました。また，令和2年3月以降，新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため，おはなし会や講演会等のイベントの開催や，ブックスタート事業※2における対面での読み聞かせ※3が難しい状況になっています。

※1 指定管理者制度は，地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を，営利企業等に包括的に代行させることができる制度である。

※2 絵本を通じて親子のコミュニケーションを促す活動。守谷市では，3～4 か月児健康診査の際に実施。

※3 主に乳幼児から小学生の子どもに対して，保護者，図書館員，保育士等が，本を見せながら読んであげること。

2 第三次計画の成果と課題

〔 1 〕 学校図書館のサービス充実

【行動内容及び成果】

（ 1 ） 学校・学校図書館の取組

① 学校図書館利用のためのオリエンテーションの実施
● 市内全ての学校で学校司書※4 が，児童生徒に対して学年ごとにオリエンテーションを実施しました。
② 学校図書館を計画的に利用するための研究
● 教職員の学校図書館部会で，学校図書館を計画的に利用するための研修を実施しました。
③ 備品等の整備
● 学校図書館の備品の整備状況を把握し，修理が必要なもの，備品や書架の不足，書架の移動等，各状況に応じた要望に対し，迅速な対応に努めました。
● 図書分類法に応じた資料の整理を行い，児童生徒が利用したくなる学校図書館の環境整備に努めました。

（ 2 ） 学校教育課の取組

① 図書の計画的整備
● 学校図書館図書標準冊数を達成している学校は，令和 2 年度当初で 13 校中 8 校となっています。児童生徒の増加等により，標準冊数に達成している学校数が減少しています。
● 適切な選書，除籍を行いながら，引き続き標準冊数の達成度に合わせた予算措置を講じました。

※4 学校図書館において，図書館の運営を担う専門職員。

② 学校図書館奉仕員の勤務体制の継続と研修
<ul style="list-style-type: none"> ● 令和元年度から図書館が市直営の運営になったため、学校図書館奉仕員に関する予算が図書館の管轄となりました。また、平成 26 年 6 月の学校図書館法の改正を受け、学校図書館奉仕員の名称を学校司書と改めました。 ● 学校図書館の充実を目的とし、小学校の学校司書の勤務時間を週 5 日 4 時間から週 5 日 6 時間に、中学校の学校司書の勤務日数及び時間を週 3 日 3.5 時間から週 5 日 4 時間に延長しました。 ● 学校図書館奉仕員新人研修を個別で実施しました。
③ 学校図書館奉仕員同士のコミュニケーション機会の提供
<ul style="list-style-type: none"> ● 毎年 1 回、学校図書館奉仕員と図書館職員の意見交換会を実施していましたが、平成 30 年度は、図書館の市直営への移行スケジュール等の説明のため、4 回開催しました。 ● 「もりやスクールコミュニケーション」※5 を利用し、相互利用に関する依頼をはじめ、学校図書館奉仕員同士が日常的に意見交換や業務相談ができる環境を継続しました。
④ 備品等の予算措置
<ul style="list-style-type: none"> ● 各学校に応じた図書・備品の適切な予算措置を行いました。 ● 学校からの修繕要望等に対し、迅速な対応を心掛け、読書環境の整備に努めました。

(3) 図書館の取組

指定管理者による運営（平成 29 年度・平成 30 年度）

① 学校への団体貸出及び学校間相互利用の協力
<ul style="list-style-type: none"> ● 団体貸出の利用は、平成 30 年度の小学校用ブックパックの導入の影響もあり、増加しました。 ● 一方で、学校間相互利用の利用数は平成 29 年度より減少しました。
② 中学校職場体験学習の受け入れ
<ul style="list-style-type: none"> ● 市内中学校 2 年生の職場体験学習の受け入れを行いました。生徒には、カウンター業務、資料の配架作業を始め、おすすめの本のポップを作成し、図書館業務への理解を深めました。

※5 教育委員会と学校間のイントラネットを利用し、教育委員会と市内の学校間との校務を効率化し、情報を円滑化・迅速化にする教員・事務職員に向けた WWW 型コミュニケーションシステム。Google Workspace For Education の導入により、令和 3 年度に利用終了。

③ 小学生 1 日司書の実施
● 夏休み期間中に、市内の小学校が選出した児童を対象に、小学生 1 日司書を実施しました。図書館のカウンター業務や館内装飾等を行い、司書の業務を経験しました。
④ 本の帯コンテストの開催
● 中学生向けのイベントとして、平成 30 年度から本の帯コンテストを開催しました。受賞者には賞状と図書カードを贈呈しました。

市直営による運営（令和元年度～令和 3 年度）

① 学校への団体貸出及び学校間相互利用の協力
<ul style="list-style-type: none"> ● 団体貸出の利用は、司書教諭※6 や学校司書への周知や連携により、増加しました。司書教諭だけではなく、教職員に対しても、教科書の単元に沿った図書の利用と団体貸出について、研修を実施しました。 ● 学校間相互利用については、令和元年度は平成 30 年度と比べ、若干増加しました。しかし、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の対策として、約半分の学校が学校間相互利用を見送ったため大幅に減少しました。 ● 相互利用は子どもたちのリクエストに応える目的で行っているため、学校での購入や学校図書館で内容制限が掛かるような本に関しては、直接図書館にリクエストするよう指導しました。
② 統括学校司書の配置
● 令和元年度に図書館が市直営となったことに伴い、学校図書館専任の職員と、全校の学校司書の取りまとめを目的とした統括学校司書を配置しました。
③ 学校司書研修の実施
● 学校司書からの要望と、学校司書の図書修理技術のスキルアップを図るため、令和 2 年度に図書修理研修を実施しました。実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策として 1 回の研修参加人数を減らし、計 7 回開催しました。

※6 図書館の専門的職務を掌る教員。司書教諭は、学校図書館の職務のうち、主に学校図書館の経営及び指導面を担当する。

④ 学校司書同士のコミュニケーション機会の提供

- 学校司書と図書館職員の意見交換会は、令和元年度にシステム更新に関する説明、操作研修、新人学校司書研修等6回開催しました。うち1回は、教職員の学校図書館部会研修会と同日に開催し、司書教諭も参加し、新システムの理解を図りました。
- 令和2年度は「もりやスクールコミュニケーション」から「Google Workspace for Education※7」への移行によるウェブ研修を6回開催しました。
- 団体貸出や相互利用に関する依頼をはじめ、学校司書同士が日常的に業務相談や意見交換ができる環境を整えました。

⑤ 学校図書館蔵書点検の実施

- 学校図書館の貴重な財産である蔵書が紛失していないか等、蔵書の有無や現状を把握するため、令和2年度に全校で蔵書点検を実施しました。これにより、所在不明の資料や登録漏れの資料等が確認され、正確な蔵書数を把握することができました。

⑥ 学校図書館資料管理の指導及び環境整備

- 急激な児童増加や、令和2年度の蔵書点検による蔵書数の適正な把握により、標準冊数に届かない学校がありました。
- 学校司書に対して、学校図書館資料の適切な選書から、除籍に至るまでの蔵書管理について、図書館から随時指導及び相談がスムーズに行えるよう環境を整備しました。

⑦ 学校図書館内の感染症対策のアドバイスの実施

- 令和元年度から令和2年度は、小中学校共に貸出数が前年度より増加しました。
- 特に令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言により、2か月間の休校になったにも関わらず、貸出数が大きく伸びています。これは、自宅での読書の有用性が見直されたことと共に、学校司書が図書室を積極的にアピールした結果と言えます。
- 学校再開後は、学校司書からの懸案事項に対応しながら、各学校に応じた対策案を提示しました。

※7 機関、学習をサポートする教師、学習に取り組む生徒のための各種サービスが備わった、Google社が提供する学校向けパッケージの総称。令和3年度から守谷市で導入。

⑧ 校舎改修工事に伴う学校図書館整備のアドバイスの実施

- 小学校の校舎改修工事（令和元年度は御所ヶ丘小学校，令和2年度は郷州小学校）に伴い，担当課と学校図書館のレイアウト案や設備等の提案・協議，仮図書室の要望等を行いました。
- 学校図書館に対しては，仮図書室での運営やレイアウト案，工事後の新図書室での資料の配架等の指導・アドバイス・作業を行いました。

⑨ 学校図書館の移動による作業のサポート

- 愛宕中学校は生徒増加が予測されているため，2つある図書室のうち，第2図書室を普通教室とするため撤去となりました。この作業に伴い，第1図書室への書架移動の助言，書架移動後の第1図書室の配架レイアウトの指導・アドバイス・作業を行いました。
- 黒内小学校でも児童増加に伴う標準冊数の増加に対応するため，書架の新設と既存書架の移動，また配架レイアウト等について，指導・アドバイスを行いました。

⑩ 中学校職場体験学習の受け入れ

- 市直営後も，引き続き中学校2年生の職場体験学習の受け入れを行いました。
- カウンター業務，資料の配架作業を始め，おすすめの本のポップを作成し，図書館業務の理解を深めました。作成後のポップは，一定期間中央図書館で展示し，終了後は各学校に返却し，学校図書館等で展示しました。
- 令和2年度の職場体験学習は，新型コロナウイルス感染症対策のため中止になりました。

⑪ 小学生1日司書の実施

- 市直営後も夏休み期間中に，市内小学校（私立含む）が選出した児童を対象に，「小学生1日司書」を行いました。
- カウンター業務のほかに，レファレンスの経験になるクイズ等も実施し，司書の業務の理解を深めました。
- 令和2年度は，新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。

⑫ ビブリオバトル※8の普及

- 読書量が低下する中学生に、ビブリオバトルの面白さを体感しながら、様々な本を知ってもらうことを目的に、普及を進めました。また、ビブリオバトルには、人から本の情報を得られると同時に、人間関係が深まり、コミュニケーションやスピーチ能力が向上する等の効果があります。
- 指導室（現 教育指導課）と連携し、令和元年度から授業内でのビブリオバトル実施を全中学校に対し依頼しました。
- 実施に際しては、希望する学校に対しての教職員への研修や図書館職員及び学校司書が生徒の前でのデモンストレーションを行い、スムーズに導入できるようサポートしました。
- ビブリオバトル大会の開催も予定していましたが、令和2年度に予定していた大会は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。

⑬ 本の帯コンテストの開催

- 市直営後も、中学生向けのイベントとして「本の帯コンテスト」を開催し、市内中学校の協力の下、作品が集まりました。
- 受賞者には賞状と図書カードを贈呈しており、年々応募が増加しています。令和元年度は応募数 83 点、令和2年度は 172 点となりました。

⑭ 学校図書館と図書館との連携についての研修の実施

- 令和元年度に指導室（現 教育指導課）と合同で、学校図書館と図書館との連携についての研修を、全校の教職員に対して実施しました。
- これまで学校と図書館で行ってきた取組や、学校図書館の活用の重要性、学年・教科毎の活用方法について周知を図りました。

⑮ 「中学校用ブックバック」の貸出

- 中学校用ブックバックを整備し、令和3年度から貸出を開始しました。
- 特徴は、様々な進路を考えられるよう多彩なジャンルや、読書が苦手な生徒でも手に取る意欲や興味を持てる本を選定している点です。

※8 参加者が「自分が読んで面白い」と思った本の魅力を紹介し合う書評ゲーム。発表参加者が一人5分間で1冊の本を紹介し、それを聞いた参加者（聴衆）とディスカッションを2～3分行う。全ての発表が終わった後、どの本が一番読みたくなったかを基準に参加者全員で投票を行い、最多票を集めた本を「チャンプ本」とする。

【課題】

中学生の読書量の低下については、生徒が自分の興味や関心がある分野に熱中したり、部活動や勉強等で読書する時間が確保しにくくなることで、相対的に読書への関心が低くなる生徒が増えていること。また、タブレット端末やスマートフォンの普及も、読書への関心の低下の要因の一つと考えられます。

学校図書館においては、学校図書館図書標準に届いていない学校があります。また、分類によって人気の差があることから、蔵書の分類の構成が偏っています。他にも、読書スペースの狭さ、書架設備の不足や老朽化等、個別の学校図書館の状況に応じた整備が必要です。

年度当初の教職員の人事異動に伴い、新たに守谷市に着任した教職員に、学校図書館と図書館との連携についての取組内容を周知する必要があります。教育指導課と実施している研修を、毎年継続していくことが重要です。

GIGA スクール構想※9により、一人1台のタブレット端末の整備やオンライン授業の実現等、デジタル化が急速に進みました。この状況を考慮し、学校図書館で実施可能な取組を考えていく必要があります。

〔2〕家庭、地域、学校における読書活動の充実

【行動内容及び成果】

(1) 学校・学校図書館の取組

① 朝の読書※10 活動
<ul style="list-style-type: none"> ● 平成30年度まで市内小中学校13校で継続していました。令和2年度は11校で実施しています。 ● 実施していない学校でも、低学年では週1回は読書時間をとっています。低学年ほど、読書タイムにより本が好きになる傾向にあります。
② 読書目標を達成した子どもの表彰
<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもへの表彰は、市内小中学校13校で毎年実施しています。独自の目標を掲げる学校もあり、表彰される子どもの数は増加傾向にあります。

※9 全国の児童・生徒一人に1台の端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する文部科学省の取り組み。GIGAは「Global and Innovation Gateway for All」の略。

※10 学校で、毎朝ホームルームや授業が始まる前の10～15分間、先生と生徒がそれぞれに自分の好きな本を黙って読む活動。

③ 行事や企画の充実

- 年1回以上の行事や企画を実施しました。それぞれ工夫を凝らした行事を開催し、ビブリオバトルやスタンプラリー、図書委員による図書クイズや、おすすめ本の紹介、しおり作成が人気でした。

(2) 指導室（現 教育指導課）の取組

① 障がいのある子どもへの読書活動の推進

- 個別に配慮が必要な児童生徒には、子どもの特性に合わせて教科書に載っている本や絵本を利用した授業を行いました。

② 各種研修会等への積極的参加

- 県立図書館主催の研修や県南地区部会研修等に、学校司書が積極的に参加しました。
- 県南地区部会研修の「ビブリオバトル実践による図書普及活動」には、中学校司書3人と統括学校司書が参加し、中学校でのビブリオバトル実施の参考にしました。

(3) 図書館の取組

① おはなし会の継続

- 図書館や子育て支援施設等でのおはなし会に加え、保育所や中央公民館等で、新たにおはなし会を開催しました。
- 4つのおはなしボランティア団体が設立されました。

② ブックスタートの継続的な実施

- 新規ボランティアの募集、研修及び調整を行い、ブックスタートの継続的な実施に努めました。
- ブックスタート事業で絵本を受け取り、読み聞かせをするようになった保護者が、アンケート調査をした全世代で50%を超えました。（4歳児保護者50.9%、小2保護者55.8%、小5保護者54.4%、中2保護者64.1%）

③ ブックトーク※11の実施
<ul style="list-style-type: none"> ● 図書館職員及び学校司書が教職員の依頼を受けて実施しました。計画的に授業にブックトークを取り入れる学校もあり、少しずつブックトークが認識されるようになっていきます。 ● 図書館職員が実施したブックトークの回数は、平成28年度には13回でしたが、令和2年度には25回になりました。
④ おはなしボランティア養成講座及び研修の実施
<ul style="list-style-type: none"> ● 養成講座を開催し、新たなボランティアの養成に努めました。 ● 育成講座を開催し、おはなしボランティアの技術向上に努めました。 ● 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。
⑤ パネルシアター※12・エプロンシアター※13の普及推進
<ul style="list-style-type: none"> ● パネルシアターに関する研修会を開催し、普及に努めました。 ● パネルシアター・エプロンシアターの蔵書数を増やし、おはなし会等で利用することで、子どもの興味をおはなしの世界につなげる手助けになっています。 ● 令和2年度の研修会は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。
⑥ 行事や企画の充実
<ul style="list-style-type: none"> ● 本の帯コンテストやビブリオバトル、小学生1日司書、ぬいぐるみのおとまり会※14等、各年代の子どもを対象にした様々な行事を実施しました。 ● 令和2年度は、「お楽しみ袋」や「おばけさがし」、「育児コンシェルジュ※15による工作キット配布」等、新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、行事を実施しました。

※11 一定のテーマに沿って本を紹介する。多くは、図書館、学校等で子どもたちに対して図書館員、学校の先生、学校司書等により行われる。

※12 専用のパネルボードに、不織布で作った絵人形を貼ったり、動かしたりしながら、お話や、歌あそび、ゲームを構成していく表現方法。

※13 エプロンを舞台に見立て、ポケットから人形を取り出し、その人形をエプロンにつけたりしながら演じる。エプロン上の人形劇のこと。

※14 図書館に預けたぬいぐるみが館内での様々な活動をする様子を写真に撮り、次の日ぬいぐるみを迎えに来た子どもに伝えるイベント。

※15 乳幼児を連れた利用者を対象に、本の紹介や、図書館利用のお手伝いをするスタッフ。守谷中央図書館では、平成29年度から配置している。

⑦ 障がいのある子どもへの読書活動の推進

- 障がい児通所支援事業所への団体貸出を通じて、資料提供に努めました。
- 団体貸出を利用する施設が増え、平成28年度には3施設だった団体貸出利用施設が、令和2年度には5施設になりました。
- 学校からは、わいわい文庫※16利用の相談があり、資料提供の支援を行いました。

⑧ 「幼稚園・保育所（園）向けブックパック」の貸出

- 保育所（園）・認定こども園・幼稚園（以下「保育所等」という）の読書活動を支援するため、幼稚園・保育所（園）向けブックパックを整備し、令和2年度から貸出を開始しました。

(4) 生涯学習課の取組

① 絵本や読み聞かせの推進

- 放課後子ども総合プラン※17で読み聞かせを実施しました。（下記参照）

年度	H29	H30	R1	R2
読み聞かせ実施プラン数	8	8	9	7

- 図書館及び公民館図書室の団体貸出を利用し、子どもが本に親しむ活動を積極的に行いました。

(5) 児童福祉課（現 すくすく保育課）の取組

① 絵本や読み聞かせの推進

- すべての保育所等・子育て支援施設で、日常的に読み聞かせが行われるようになりました。令和2年度からは、席の距離を開ける、大型絵本を利用する等の工夫をして、読み聞かせを継続しています。
- おはなし会は、半数以上の施設で、先生や支援員、あるいは保護者やおはなしボランティアの協力で開催されました。
- 令和2年度から開始された幼稚園・保育所（園）向けブックパックを利用し、読み聞かせに活用しました。

※16 公益財団法人伊藤忠記念財団が製作した「マルチメディア DAISY 図書（音声と一緒に、文字や画像が表示されるデジタル図書）」の愛称。

※17 守谷市では、文部科学省の補助事業である「放課後子ども教室」事業と、厚生労働省の補助事業である「放課後児童クラブ」事業とを連携させ、小学生を対象とした総合的な放課後対策事業を「放課後子ども総合プラン」として推進している。

【課題】

読み聞かせやおはなし会，ブックスタート，各種イベントにおいてボランティアが活躍しています。活躍を期待される場が増える一方，ボランティアとして活動している人数が減少しています。現ボランティアの育成及び支援とともに，ボランティア活動に参加しやすい環境を整える必要があります。

保護者アンケートでは，ブックスタート事業で絵本を受け取り，積極的に読み聞かせをするようになった保護者が半数を超える一方，どのような絵本を読めばよいかわからないといった意見が寄せられました。家庭での読書活動を推進するため，おすすめ本の紹介や絵本を選ぶ資料の提供等を考える必要があります。

〔3〕子どもの読書活動の理解を高めるための普及活動の継続

【行動内容及び成果】

(1) 学校・学校図書館の取組

① ホームページの充実

- 市内小中学校 13 校のホームページで，中央図書館ホームページ又は学校図書館の蔵書検索ページがリンクされています。
- 学校で発行している「としょだより」を，保護者ポータルサイトに掲載し，保護者へ図書資料を紹介している学校もあります。

(2) 図書館の取組

① 子ども読書の日※18 や守谷親子読書の日^{※19}の普及活動

- こどもの読書週間にイベントを開催し，市の広報紙に「子ども読書の日」の説明を併せて掲載しました。
- 守谷親子読書の日※19 にはおはなし会を開催し，読書活動の推進に努めました。
- 施設訪問等による普及活動は，実施できませんでした。

※18 「子どもの読書活動の推進に関する法律」により，4 月 23 日は「子ども読書の日」と定められている。4 月 23 日から 5 月 12 日までは，社団法人読書推進運動協議会が，「こどもの読書週間」と定めている。

※19 第一次計画で，家族での読書の機会を増やす取組として第 2 土曜日を指定。

(3) 生涯学習課・児童福祉課（現 すくすく保育課）の取組

① 家庭教育講座※20等での読書活動の指導

- 家庭教育講座で毎年1回読書に関する講座を開催し、保護者に対する読書啓発に努めました。
- 保育所等では、おすすめ本の紹介や月刊誌等の定期購入を通じて、保護者に読み聞かせの大切さを伝えています。

【課題】

令和3年度に、守谷型 GIGA スクール構想により児童生徒や保護者への周知方法が変更になりました。今後は、一人1台のタブレット端末に対応した周知方法に見直す必要があります。

保護者アンケートでは、週1回以上読み聞かせをすると回答した保護者が、小学2年生になると減少する傾向があります。子どもアンケートでは、本を読むことが大切だと思うと回答した小学2年生が、75%に減少しています。家庭での読み聞かせを通じて、読書の大切さを伝えていくことが重要です。

※20 守谷市では、平成21年度から健全な児童生徒の育成を目指し、親としての自覚や意識を高め合うことを目的に実施。子育て・家庭教育に関する学習機会の提供の場。

3 総括

平成 29 年 5 月に策定された「第三次計画」に基づき、家庭、地域、学校において更なる子どもの読書活動の推進を図るため、それぞれの機関が連携、協力しながら取り組むことができました。

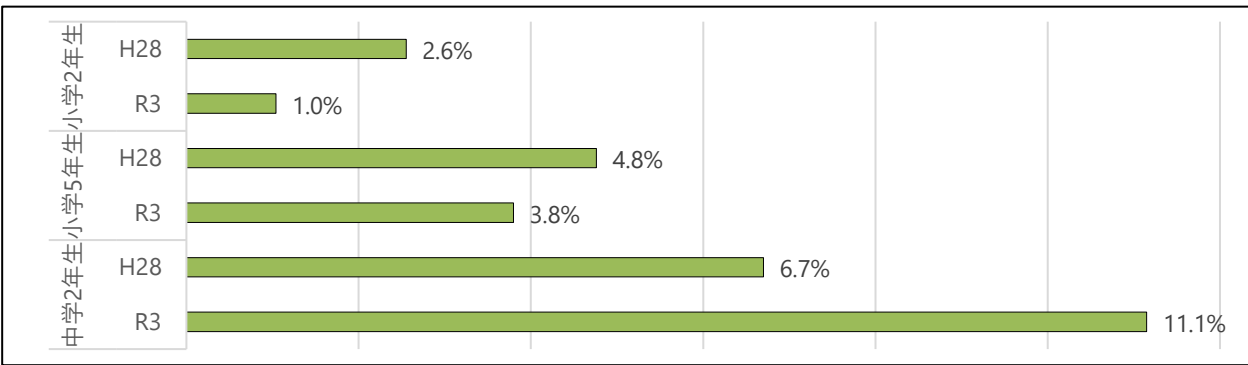
特に、3 つの柱の一つである「学校図書館のサービス充実」では、「わくわく子育て王国もりや」実現に向けた第一次学校教育改革プランが策定され、図書館と学校図書館が連携して取組を進めることで、学校図書館の貸出数が飛躍的に増加しました。団体貸出やブックトークを計画的に利用する学校が増加したことは、指導室（現 教育指導課）と合同で教職員に対して研修を実施した成果です。

今回のアンケート調査では、小学生の 1 か月に 1 冊も本を読まなかった子どもの割合（不読率）は、家庭・地域・学校で実施した読書活動の推進に関する取組により、小学 2 年生は 1.0%，小学 5 年生は 3.8%と改善しています。

一方で、中学 2 年生の不読率は、11.1%に増加しました。これは、中学校や家庭で読書時間を確保することが難しいことが一番の原因です。アニメ・ゲーム等本以外のものに関連した本から、個人の興味関心に寄り添った本を紹介する、あるいは、友だちからの働きかけ等といった取組を通じて、読書への関心を高めることが、不読率の改善につながると考えられます。

今後、第三次計画の課題を解決し、更なる環境整備に取り組むために、次の第四次計画を着実に実行することが求められます。

【守谷市における不読率の経年比較】



小学 2 年生		小学 5 年生		中学 2 年生	
H28	R3	H28	R3	H28	R3
2.6%	1.0%	4.8%	3.8%	6.7%	11.1%

第三次守谷市子ども読書活動推進計画の行動目標実績

基本方針	具体的な取組	指 標	現状値	H29	H30	R1	R2	目標値	達成状況	所管	備 考
学校図書館のサービス充実	学校図書館利用のためのオリエンテーションの実施	オリエンテーションの実施校数	12校	13校	13校	13校	13校	13校	○	学校図書館	
	学校図書館を計画的に利用するための研究	学校図書館を計画的に利用するための研究会の実施回数	年1回	1回	1回	1.4回	1回	年2回以上	×	学校図書館	
	図書の計画的整備	学校図書館図書標準の達成校	8校	8校	9校	10校	8校	13校	○	学校教育課	児童生徒の増加等による達成校減少
	学校司書の勤務体制の継続と研修	1校当たりの1週の出勤日数	小学校：5日 中学校：3日	小学校：5日 中学校：3日	小学校：5日 中学校：3日	小学校：5日 中学校：5日	小学校：5日 中学校：5日	継続	○	学校教育課→図書館	R1から、所管変更
	学校司書同士のコミュニケーション機会の提供	1校当たりの1日の従事時間数	小学校：4時間 中学校：3.5時間	小学校：4時間 中学校：3.5時間	小学校：4時間 中学校：3.5時間	小学校：6時間 中学校：4時間	小学校：6時間 中学校：4時間	継続	○	学校教育課→図書館	
	学校司書同士のコミュニケーション機会の提供	学校司書同士のコミュニケーション機会の提供回数	年1回	年4回	年4回	年6回	年6回	年2回	○	学校教育課→図書館	
家庭・地域、学校における読書活動の充実	学校への団体貸出及び学校間相互利用の協力	学校図書館への団体貸出冊数	1,416点	2,559点	1,777点 (4,508点)	4,947点	4,388冊	2,000点→ 4,000点	○	図書館	小学校用ブックバックの貸出により貸出冊数増加。R1に目標値を見直す
	朝の読書活動の継続	学校間の借受・貸出冊数	658冊	356冊	166冊	189冊	26冊	800冊→ 150冊	×	図書館	学校図書館資料の充実により借受減少。R1に目標値を見直す。R2は、参加学校数が減少
	読書目標を達成した子どもの表彰	実施校数	13校	13校	13校	12校	11校	継続→ 13校	×	学校図書館	R1に、目標値修正。カリキュラム変更により朝読書を中止した学校あり
	行事や企画の充実	実施校数	13校	13校	13校	13校	13校	継続→ 13校	○	学校図書館	R1に、目標値修正
	行事や企画の充実	行事や企画の実施回数	年1回	年2回	年3回	年4.5回	年3.3回	年1回以上	○	学校図書館	
	障がいのある子どもへの読書活動の推進	授業での絵本・紙芝居等の使用回数	年3回	年3回	年11回	年21回	年13回	年3回以上	○	図書館	
	各種研修会などへの積極的参加	年36回	年36回	年36回	年36回	年36回	年36回	継続	○	指導室	
	おはなし会の継続	研修会等への参加回数	年1回	年2回	年2回	年2回	年2回	年1回以上	○	指導室	
		出張おはなし会の実施回数	未実施	年5回	年9回	年4回	未実施	年3回以上	×	図書館	R2は、各施設でおはなし会の受入が中止

第三次守谷市子ども読書活動推進計画の行動目標実績

子ども読書活動推進計画における行動目標

基本方針	具体的な取組	指 標	現状値	H29	H30	R1	R2	目標値	達成状況	所管	備 考
家庭、地域、学校における読書活動の充実	ブックトークの実施	ブックトークの実施校数	3校	6校	2校	5校	9校	9校	○	図書館	
	おはなしボランティア養成講座及び研修の実施	ボランティア養成講座開催回数	年1回	年1回	未実施	年1回	未実施	年1回以上	×	図書館	R2は、おはなしボランティアの活動を休止した団体が多いため中止
	パネルシアター・エプロンシアターの普及推進	パネルシアター・エプロンシアター普及のための研修回数	年1回	年1回	年2回	年1回	未実施	年1回以上	×	図書館	R2は、おはなしボランティアの活動を休止した団体が多いため中止
	絵本や読み聞かせの推進	図書館からの団体貸出実施数	未実施	年1回	年1回	年1回	未実施	年1回以上	×	図書館	R2は、おはなしボランティアの活動を休止した団体が多いため中止
	ホームページの充実	図書館からの団体貸出実施数	12か所	9か所	13か所	16か所	18か所	20か所	×	図書館 児童福祉課	
子どもの読書活動の理解を高めるための普及活動の継続	子ども読書の日や守谷親子読書の日等のイベント実施回数	子ども読書の日や守谷親子読書の日等のイベント実施回数	8校	1校	8校	9校	13校	拡充	○	学校 学校図書館	
	家庭教育講座等での読書活動の指導	家庭教育講座等での読書活動の推進回数	年1回	年3回	年3回	年4回	年1回	年1回以上	○	図書館	R2は、講演会等のイベントを中止
			未実施	年12回	年12回	年11回	年7回	年1回以上	○		R2は、図書館内の座席利用が可能な日のみ開催
			年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回以上	○	生涯学習課 児童福祉課	

以下の項目は行動目標に未掲載。しかし、取組の継続を目指すもの。

基本方針	具体的な取組	指 標	現状値	H29	H30	R1	R2	目標値	達成状況	所管	備 考
学校図書館のサービス充実	備品等の整備	備品等の整備数	実施	4校	7校	11校	8校	継続	○	学校 学校図書館	
学校図書館のサービス充実	備品等の予算措置	備品等の予算措置や修繕数	実施	実施	学校からの要望なし	実施	実施	継続	○	学校教育課	
家庭、地域、学校における読書活動の充実	ブックスタートの継続的な実施	ブックスタートの継続的な実施	実施	24回	24回	22回	8回	継続	○	図書館	R2は、保健センターでの3・4・5月児健康診査が中止になったため、回数減
	障がいのある子どもへの読書活動の推進	障がいのある子どもへの団体貸出数	82冊	150冊	228冊	214冊	410冊	継続	○	図書館	
家庭、地域、学校における読書活動の充実	ブックトークの実施	ブックトークの実施回数	13回	22回	11回	25回	25回	30回	×	図書館	

第2章 第四次計画の基本方針等

1 子どもの読書活動の意義

子どもの読書活動は，子どもが，言葉を学び，感性を磨き，表現力を高め，創造力を豊かなものにし，人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ，すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう，積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。（「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年法律第154号）第2条）

2 計画策定の趣旨

守谷市では，「子どもの読書活動の推進に関する法律」，国の「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画※1」及び茨城県の「いばらき子ども読書活動推進計画※2」を踏まえ，守谷市の教育目標に掲げる「新しい時代をたくましく生きぬく人づくり」を目指して，平成19年3月に「第一次計画」，平成25年2月に「第二次計画」，平成29年5月には「第三次計画」を策定しました。

第三次計画の成果と課題を踏まえ，守谷市における更なる子ども読書活動の推進を図ることを目的として，「第四次守谷市子ども読書活動推進計画」（以下「第四次計画」という。）を策定します。

※1 「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき，平成14年8月に閣議決定された国の計画。これを基本として地方公共団体も「子ども読書活動推進計画」を策定するよう努めることとされている。平成20年3月に第二次基本計画，平成25年5月に第三次基本計画が策定され，平成30年4月に「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」（第四次基本計画）が策定された。

※2 「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき，国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を基本とし，茨城県が平成16年3月に策定した計画。平成22年1月には第二次推進計画，平成27年3月には第三次推進計画が策定されている。

3 基本方針

〔1〕発達段階に応じた読書習慣の形成

生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成するために、子ども一人一人の発達や読書経験に応じて、楽しむ、学ぶ、調べる等多様な目的に応じた幅広い読書活動の機会を提供します。

〔2〕読書への関心を高める取組

成長に伴い読書の関心度合いが低くなっている子どもが見られることから、読書への関心を高める取組を行うことが必要です。家族・友人等様々なつながりを生かして、読書のきっかけとなる一冊に出会い、読書への関心を高める取組を実施します。

4 計画の対象

計画の対象者は、乳幼児から中学生とします。

「子どもの読書活動の推進に関する法律」第2条では、18歳以下の子どもを対象としています。守谷市では中学生までが読書の基礎を築く大切な時期と捉え、重点的に取り組むことができるよう対象者を絞りました。

5 計画の期間

この計画の実施期間は、令和4年度から令和8年度までのおおむね5年間とします。

6 計画の体系図

目 標

施 策

発達段階に応じた読書習慣の形成
読書への関心を高める取組

1 乳幼児の 読書活動の推進

(1) 乳幼児の読書活動推進のための取組

(2) 家庭における読書を支援する取組

2 小中学生の 読書活動の推進

(1) 読書のための設備の充実

(2) 読書のための環境の充実
(児童生徒へのアプローチ)

(3) 児童生徒の読書への関心を高めるための
人づくり

(4) 本に親しむためのネットワークの充実

3 全ての子どもに 対する読書活動の 推進

(1) 全ての子どもに対する読書活動推進の取組

4 家庭における 読書活動の推進

(1) 家庭での読書活動及び図書館利用の促進

取 組

- | | |
|---------------------------|------------------|
| ① ブックスタート事業の実施 | ④ 絵本や物語に親しむ活動の実施 |
| ② 保育所等・子育て支援施設への読書活動の支援 | ⑤ ボランティア活動促進への支援 |
| ③ 育児コンシェルジュによる子どもや保護者への支援 | |

- ① 読み聞かせ等の大切さや意義を伝える活動の実施
② 保護者へのおすすめ本の情報提供

- | | |
|--------------|---------------|
| ① 学校図書館資料の充実 | ③ 備品・設備等の予算措置 |
| ② 備品等の管理 | |

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ① 学校図書館の計画的な活用 | ⑤ ブックトークの実施 |
| ② 読書時間の確保 | ⑥ イベントや企画の充実 |
| ③ 読書目標を達成した児童生徒の表彰 | ⑦ 友だち等からの図書紹介活動の実施 |
| ④ 放課後子ども総合プランへの図書の提供 | |

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| ① 学校司書の勤務体制の維持 | ④ 学校図書館担当者間の連携の強化 |
| ② 学校司書研修とコミュニケーション機会の提供 | ⑤ 情報モラル・著作権の研修 |
| ③ 学校図書館を活用するための研修 | ⑥ 図書館との連携による学校図書館充実のための研修 |

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ① 学校への団体貸出 | ④ 児童生徒へのスムーズな図書情報の提供 |
| ② 学校間相互利用の推進と協力体制の充実 | ⑤ 電子書籍導入の検討 |
| ③ ADEACの活用 | |

- | | |
|-------------------|------------|
| ① 全ての子どもへの資料提供の推進 | ③ 電子書籍の充実 |
| ② 図書館サービスの周知 | ④ 読書補助具の配置 |

- ① 家庭教育講座等での読書活動の促進や図書館利用の周知
② 読書への関心を高める事業の実施

第3章 子どもの読書活動推進のための方策

1 乳幼児の読書活動の推進

【施策の方向】

乳幼児期の読書活動は、読書習慣を形成する重要な第一歩です。

乳幼児期には、大人からの声掛け等で言葉を次第に獲得するとともに、絵本や物語を読んでもらうこと等を通じて読書に興味を示すようになります。子どもにとって最も身近な存在である保護者には、子どもの読書機会の充実及び習慣化に積極的に役割を果たしていくことが期待されます。

保育所等や子育て支援施設、図書館は連携して、子どもが本と触れ合い、読書を楽しむ機会を提供し、家庭での読み聞かせの支援に努めます。

【具体的な取組】

(1) 乳幼児の読書活動推進のための取組

① ブックスタート事業の実施	
● 保健センターの 3～4 か月児健康診査時に、絵本を通じて親子のコミュニケーションを促すブックスタート事業を実施します。	図書館
② 保育所等・子育て支援施設への読書活動の支援	
<ul style="list-style-type: none"> ● 保育所等での読書活動を支援するために、幼稚園・保育所（園）向けブックパックを継続します。 ● 保育所等・子育て支援施設への団体貸出を通じて、図書館への来館が難しい乳幼児に、様々な絵本に触れることができる機会を提供します。 ● 保育所等・子育て支援施設は、図書館のリサイクルブックを活用する等、施設の図書資料充実を図ります。 	保育所等 のびのび子育て課 図書館
③ 育児コンシェルジュによる子どもや保護者への支援	
● 読み聞かせや本の紹介・相談等、育児コンシェルジュによる子どもや保護者への支援事業を実施します。	図書館

④ 絵本や物語に親しむ活動の実施	
<ul style="list-style-type: none"> ● 保育所等・子育て支援施設は、乳幼児が絵本に親しむことができるよう、日常的に読み聞かせを実施します。 ● 保育所等・子育て支援施設は、乳幼児が読書の楽しさを知ることができるよう、保育士・ボランティア・保護者等による、おはなし会を開催します。 ※おはなし会…日常の読み聞かせと区別し、一つの行事として実施。 	<p>すくすく保育課 のびのび子育て課 保育所等</p>
⑤ ボランティア活動促進への支援	
<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもが絵本や読み聞かせの楽しさを感じられるように、おはなしボランティアの活動場所を図書館以外にも広げ、公民館等子どもに身近な施設で、おはなし会を開催します。 ● おはなしボランティアの体験機会の提供等、ボランティア参加への一歩となる事業を実施します。 ● パネルシアターやエプロンシアター等の資料や紙芝居舞台等の備品を貸し出し、おはなし会で積極的に利用します。 	<p>図書館</p>

(2) 家庭における読書を支援する取組

① 読み聞かせ等の大切さや意義を伝える活動の実施	
<ul style="list-style-type: none"> ● 保育所等・図書館は、おすすめ本の紹介やポスター掲示、絵本の貸出等様々な活動を通じて、保護者に対し、読み聞かせと読書の大切さや意義を伝えます。 ● 保育所等は、家庭で絵本を楽しむことができるよう、乳幼児に絵本の貸出を実施します。 	<p>すくすく保育課 保育所等 図書館</p>
② 保護者へのおすすめ本の情報提供	
<ul style="list-style-type: none"> ● 図書館は、年代別のブックリストの作成や、茨城県の「優良図書」、家庭教育応援ナビの「おすすめの本紹介」を活用して、おすすめ本の情報を保護者へ提供します。 ● 保育所等を通じて、おすすめ本の情報提供を実施します。 	<p>保育所等 図書館</p>

2 小中学生の読書活動の推進

【施策の方向】

小中学生にとって、学校は多くの時間を過ごす場所であり、身近にある図書館は学校図書館です。当市の学校図書館は、児童生徒が利用するに当たり、一定水準に整備されています。

本計画では、児童生徒及び教職員にとってより利用しやすい読書環境の充実に努めます。さらに、学校司書の継続的配置とともに、専門的な技能向上に努めます。

また、GIGA スクール構想により、児童生徒一人 1 台のタブレット端末が整備され、ICT 教育が急速に進む中、授業のデジタル化等に対応できる読書活動を実施していく必要があります。

【具体的な取組】

(1) 読書のための設備の充実

① 学校図書館資料の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校図書館図書標準に定める冊数を基準に、市内全小中学校の標準冊数を満たすよう、教育活動に求められる十分な規模の学校図書館資料の充実に努めます。 ● 情報の古い本の入れ替えを可能とする予算措置を積極的に実施します。 ● 司書教諭と学校司書が中心となり、児童生徒の興味を把握し、魅力ある蔵書となるよう努めるとともに、授業で活用できる資料の選書と、適切な除籍を行います。 	小中学校 学校教育課 図書館
② 備品等の管理	
<ul style="list-style-type: none"> ● 書架や机・椅子等の学校図書館備品の整備状況を確認し、大規模なものは修理・入替・新規購入をし、児童生徒が本を読みたくなる環境づくりに努めます。 	小中学校 学校教育課
③ 備品・設備等の予算措置	
<ul style="list-style-type: none"> ● 必要な備品等の整備や修繕を行います。校舎改修工事を実施する学校は、児童生徒のニーズに合った学校図書館となるよう予算措置を行い、整備を実施します。 	小中学校 学校教育課

(2) 読書のための環境の充実（児童生徒へのアプローチ）

① 学校図書館の計画的な活用	
● 学校は、学年毎、クラス毎の学校図書館の利用計画及びローテーションを定め、学校司書と連携しながら積極的に利用するよう努めます。	小中学校
② 読書時間の確保	
● 朝の読書活動又は授業内で定期的に読書を行うよう努めます。	小中学校 教育指導課
③ 読書目標を達成した児童生徒の表彰	
● 児童生徒の読書への意欲を高めるために、小学4年生以上は年間50冊以上、中学生は30冊以上の読書目標を達成した児童生徒に表彰を行います。	小中学校
④ 放課後子ども総合プランへの図書の提供	
● 放課後子ども総合プランに通う児童が本に親しめるよう、団体貸出による図書の提供や、おはなし会を積極的に行うよう努めます。	生涯学習課 図書館
⑤ ブックトークの実施	
● ブックトークの拡充に努め、児童生徒が本に興味を抱くような環境づくりを進めます。また、単元にあわせたブックトークを教職員に対し実施する等、周知に努めます。 ● 学校司書がブックトークを実施できるよう、研修や見学の機会を設けます。	小中学校 図書館
⑥ イベントや企画の充実	
● 学校や学校図書館は、児童生徒の読書意欲を高めるため、児童生徒が楽しめる本の展示やコーナー作り、イベント等の企画に努めます。	小中学校 図書館
⑦ 友だち等からの図書紹介活動の実施	
● ビブリオバトルや高学年から低学年への読み聞かせ、おすすめ本紹介カードの作成等、大人からではなく、児童生徒同士で図書の紹介を行い、児童生徒がより図書に興味を持つ機会を設けるよう努めます。	小中学校 図書館

(3) 児童生徒の読書への関心を高めるための人づくり

① 学校司書の勤務体制の維持	
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校司書の勤務日数・時間等の勤務体制を維持し，学校図書館のサービスの向上を図り，児童生徒の読書習慣の定着を図ります。 	図書館
② 学校司書研修の実施とコミュニケーション機会の提供	
<ul style="list-style-type: none"> ● 選書や図書の修理，ブックトークや読み聞かせ等の研修を行い，学校司書の専門性向上を図ります。 ● 学校司書同士が定期的にコミュニケーションを取り，連絡調整や情報交換等ができる機会を設けます。 	図書館
③ 学校図書館を活用するための研修	
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校は，教職員の学校図書館部会において，学校図書館を活用するための研修を行います。 	小中学校 教育指導課
④ 学校図書館担当者間の連携の強化	
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校図書館部会，司書教諭，学校司書，図書館との間で交流会や合同研修を実施し，学校図書館の活性化に努めます。 ● 学校は，教職員に対し学校図書館の活用や読書推進についての各種研究会や研修会へ参加しやすい体制づくりを進めます。 	小中学校 教育指導課 図書館
⑤ 情報モラル・著作権の研修	
<ul style="list-style-type: none"> ● 校務のICT化とGIGAスクール構想によるICT教育の更なる推進に対応するため，教職員への研修を実施します。 	小中学校 教育指導課
⑥ 図書館との連携による学校図書館充実のための研修	
<ul style="list-style-type: none"> ● 図書館と連携した学校図書館運営や，授業づくりについての取組内容を教職員に周知するため，年度の初めに研修を実施し，学校図書館の充実を図ります。 	小中学校 教育指導課 図書館

(4) 本に親しむためのネットワークの充実

① 学校への団体貸出	
<ul style="list-style-type: none"> ● 図書館から学校へ、積極的に朝の読書や授業に必要な図書の団体貸出を行います。 ● 団体貸出の利用方法の説明や、単元で使える図書リストを提供する等、教職員が図書を手に取ることができる機会を設けます。 	小中学校 図書館
② 学校間相互利用の推進と協力体制の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ● 自校に所蔵がなくても、図書館や他の学校から借りることのできる学校間相互利用を円滑に実施できるよう努めます。 ● 児童生徒が積極的に学校間相互利用を活用できるよう、リクエストを推進し周知に努めます。 	小中学校 図書館
③ ADEAC※1の活用	
<ul style="list-style-type: none"> ● タブレット端末の利用拡大に合わせ、電子化されている社会科副読本の積極的な活用を目指し、社会科部会に周知を図ります。 	小中学校 教育指導課 図書館
④ 児童生徒へのスムーズな図書情報の提供	
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校のホームページや児童生徒のタブレット端末に図書館や各学校図書館の蔵書検索ページをリンクさせ、図書情報の発信に努めます。 	小中学校 図書館
⑤ 電子書籍導入の検討	
<ul style="list-style-type: none"> ● 電子書籍が普及する中、児童生徒へのタブレット端末の整備が進むことを踏まえ、学校図書館での電子書籍導入を目指し、諸問題等の調査研究を行います。 	小中学校 学校教育課 図書館

※1 デジタルアーカイブの検索・閲覧を行うためのプラットフォームシステム。守谷市の郷土資料等をデジタル化し公開している。「A System of Digitalization and Exhibition for Archive Collections」の略。

3 全ての子どもに対する読書活動の推進

【施策の方向】

令和元年 6 月に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法）が施行されました。この法律は、障がいの有無に関わらず、全ての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるようにするための法律です。さまざまな障がいのある方が、利用しやすい形式で本の内容にアクセスできるようにすることを目指しています。

図書館では、全ての子どもが、豊かな読書活動を体験できるよう、布絵本、点字資料、わいわい文庫、電子書籍を所蔵しています。今後も、子どもの特性に合わせた資料の収集整備及び提供と図書館サービスの周知に努めます。

【具体的な取組】

（１）全ての子どもに対する読書活動推進の取組

① 全ての子どもへの資料提供の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校と協力し、子どもの特性に合わせた資料の提供に努めます。 ● 障がい児通所支援事業所への団体貸出を通じて、資料の提供に努めます。 ● おはなしボランティアの協力による障がい児通所支援事業所でのおはなし会を継続し、読書への関心を高めます。 	小中学校 図書館
② 図書館サービスの周知	
<ul style="list-style-type: none"> ● 個別に配慮が必要な子どもやその保護者に対し、施設訪問等を通じて、図書館で利用できるサービスの周知に努めます。 	図書館
③ 電子書籍の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ● 全ての子どもが多様な読書を楽しむことができるように、電子書籍の充実に努めます。 	図書館

④ 読書補助具の配置	
<ul style="list-style-type: none"> ● リーディングトラッカー※2等の読書補助具を配置し、利用方法を周知することで、読書を困難に感じている子どもの手助けをします。 ● 学校図書館や放課後子ども総合プラン・子育て支援施設に対し、読書補助具配置の啓発活動を行います。 	小中学校 生涯学習課 のびのび子育て課 図書館

4 家庭における読書活動の推進

【施策の方向】

家庭における読書は、本を媒介にして家族が話し合う時間を持ち、絆を深める手段として重要です。子どもや保護者に向けた取組を通じて、家庭における読書活動の推進に努めます。

【具体的な取組】

(1) 家庭での読書活動及び図書館利用の促進

① 家庭教育講座等での読書活動の促進や図書館利用の周知	
<ul style="list-style-type: none"> ● 生涯学習課は、本を介した子どもとの関わり合いを楽しみながら、家庭で子どもの読書習慣を身に付けることができるよう、家庭教育講座の中で保護者が読書に理解を深める講座を開催します。 ● 図書館は、講座等の様々な機会を利用し、家庭での読書活動の促進や、図書館の利用方法の周知をします。 	生涯学習課 図書館
② 読書への関心を高める事業の実施	
<ul style="list-style-type: none"> ● イベントや企画を充実させ、家族で図書館へ来館し、本に興味を持つきっかけとなるよう努めます。 ● 学校の長期休業期間を活用し、外国語や小学生向けのおはなし会等、年齢や興味を考慮したイベントを実施します。 	図書館

※2 読書するときに、どこを読んでいるのかがひと目でわかり、読みやすくするための定規のようなもので、読書補助具の一つ。ディスレクシアのある人や視覚障害（視野狭窄や黄斑変性等）のある人の読書をサポートするツールであるとともに、集中して読書したい人等にも便利な誰もが使えるユニバーサルデザインのツール。

第4章 方策の効果的な推進に必要な事項

1 推進体制

【施策の方向】

子どもの読書活動の一層の推進を図るために、家庭、地域、学校が緊密に連携し、提案・協議のできる総合的な推進体制を継続します。

【具体的な取組】

(1) 守谷市子ども読書活動推進会議の設置

本計画を効果的に推進するため、市、学校、保育所等、民間団体の代表者等で構成する守谷市子ども読書活動推進会議を設置します。

(2) 「第四次計画」の実施状況調査と見直し

守谷市子ども読書活動推進会議は、本計画の実施状況を検証し、必要に応じて本計画の見直しを含め、提案します。

2 第四次計画における行動目標

【施策の方向】

本計画の行動目標は、次ページ以降に示します。

なお、守谷市は本計画に掲げられた各種施策を実施するため、必要な財政上の措置を講ずるよう努めます。

第四次守谷市子ども読書活動推進計画における行動目標

※新型コロナウイルス感染症の影響により、R2年の数値のみでは適性が図れないため、R1,2年を現状値として記載します。

具体的な取組		指標	R1	R2	目標値	所管
(1) 乳幼児の読書活動推進のための取組						
ブックスタート事業の実施	ブックスタート事業の参加率	99%	77%	100%	図書館	
保育所等・子育て支援施設への読書活動の支援	団体貸出利用施設率	11%	23%	50%	保育所等のびのび子育て課 図書館	
	貸出冊数	235冊	533冊	1,000冊		
	リサイクルブックフェア参加施設数	3施設	2施設	10施設		
育児コンシェルジュによる子どもや保護者への支援	読み聞かせなどの件数	1,295件	1,286件	1,500件	図書館	
絵本や物語に親しむ活動の実施	読み聞かせ実施施設の割合	100%	86%	100%	すくすく保育課 のびのび子育て課 保育所等	
	おはなし会の開催施設数	13施設	5施設	20施設		
ボランティア活動促進への支援	おはなし会実施回数	146回	42回	150回	図書館	
	資料・備品の貸出数	1,460点	376点	1,500点		
(2) 家庭における読書を支援する取組						
読み聞かせ等の大切さや意義を伝える活動の実施	実施施設数	—	新設	39施設	すくすく保育課 保育所等 図書館	
	絵本の貸出施設数	—	新設	15施設		

第四次守谷市子ども読書活動推進計画における行動目標

※新型コロナウイルス感染症の影響により、R2年の数値のみでは適性が図れないため、R1,2年を現状値として記載します。

具体的な取組		指標	R1	R2	目標値	所管
(1) 読書のための設備の充実						
小中学生の読書活動の推進	学校図書館資料の充実	学校図書館図書標準の達成校	10校	8校	13校	小中学校 学校教育課 図書館
	(2) 読書のための環境の充実（児童生徒へのアプローチ）					
	学校図書館の計画的な活用	実施校数	—	新設	13校	小中学校
	学校図書館の貸出資料の拡充	年間貸出数	—	新設	200,000冊	
	読書時間の確保	実施校数	12校	11校	13校	小中学校 教育指導課
	読書目標を達成した児童生徒の表彰	実施校数	13校	13校	13校	小中学校
	放課後子ども総合プランへの図書提供	放課後子ども総合プランへの団体貸出冊数	—	新設	3,000冊	生涯学習課 図書館
	ブックトークの実施	実施クラス数	—	新設	50クラス	小中学校 図書館
	イベントや企画の充実	実施回数	—	新設	65回	
	友だち等からの図書紹介活動の実施	実施校数	—	新設	13校	

第四次守谷市子ども読書活動推進計画における行動目標

※新型コロナウイルス感染症の影響により、R2年の数値のみでは適性が図れないため、R1,2年を現状値として記載します。

具体的な取組		指標	R1	R2	目標値	所管
(3) 児童生徒の読書への関心を高めるための人づくり						
小中学生の読書活動の推進	学校司書研修の実施とコミュニケーション機会の提供	実施回数	—	新設	年5回	図書館
	学校図書館を活用するための研修	実施回数	年1回	年1回	年1回	小中学校 教育指導課
	学校図書館担当者間の連携の強化	実施回数	—	新設	年1回以上	小中学校 教育指導課 図書館
	情報モラル・著作権の研修	実施回数	—	新設	年1回以上	小中学校 教育指導課
	図書館との連携による学校図書館充実のための研修	実施回数	—	新設	年1回	小中学校 教育指導課 図書館
	(4) 本に親しむためのネットワークの充実					
	学校への団体貸出	団体貸出冊数	4,947冊	4,388冊	5,000冊	小中学校 図書館
	学校間相互利用の推進	学校間の借受・貸出冊数	189冊	26冊	150冊	小中学校 図書館
	ADEACの活用	実施校数	—	新設	13校	小中学校 教育指導課 図書館

第四次守谷市子ども読書活動推進計画における行動目標

※新型コロナウイルス感染症の影響により、R2年の数値のみでは適性が図れないため、R1,2年を現状値として記載します。

具体的な取組		指標	R1	R2	目標値	所管
全ての子どもに対する読書活動の推進	(1) 全ての子どもに対する読書活動推進の取組					
	全ての子どもへの資料提供の推進	学校での子どもの特性に合わせた資料提供冊数	—	新設	130冊	小中学校図書館
		障がい児通所支援事業所への団体貸出冊数	214冊	410冊	500冊	図書館
		電子書籍の充実	児童書所蔵数	—	新設	
	読書補助具の配置	リーディングトラッカー配置施設数	—	新設	20施設	小中学校生涯学習課 のびのび子育て課 図書館
家庭における読書活動の推進	(1) 家庭での読書活動及び図書館利用の促進					
	家庭教育講座等での読書活動の促進や図書館利用の周知	家庭教育講座の実施回数	1回	1回	1回	生涯学習課 図書館
	読書への関心を高める事業の実施	実施回数	25回	14回	30回	図書館

資 料 編

- 1 子どもの読書活動に関するアンケート調査
- 2 市内子ども読書活動実施施設に関するアンケート調査
- 3 子どもの読書活動の推進に関する法律
- 4 子どもの読書活動の推進に関する法律に対する衆議院文部科学委員会における附帯決議



アンケートの設問や回答の中に、図書室という表記があります。
学校図書館法（昭和 28 年法律第 185 号）において、学校内にその設置を義務付けており、本編の中では「学校図書館」と表記していますが、子どもたちや保護者など学校内では「図書室」と呼ばれることが多いため、アンケート内では、学校図書館を図書室と記載している部分や回答があります。

アンケート調査の目的

市内の子どもの読書環境や読書意識等の現状を把握し、子どもの読書活動に影響を与える要因との関連を明らかにすることにより、本市の「第四次計画」の策定に資することを目的として調査しました。平成 28 年 12 月に「第三次計画（平成 29 年 5 月）」策定のために、同様のアンケートを実施しています。今回のアンケートを比較・検討することにより、その取組に関する評価と課題を確認していきます。

1 子ども読書活動に関するアンケート調査

今回の計画策定に当たり、市では市内の子どもとその保護者に対して、以下の要領で読書活動についてのアンケート調査を実施しました。

これらのアンケート結果から得られた情報や要望は、今回の計画にもできる限り反映させ、また、今後も子どもの読書活動推進に関する取組についての貴重な資料として活用していきます。

（１）調査対象

市内の小中学校（13 校）及び保育所・認定こども園・幼稚園（25 か所）

- ① 保育所・認定こども園・幼稚園（保護者／年中組）
- ② 小学校（2 年生）
- ③ 小学校（5 年生）、中学校（2 年生）
- ④ 小学校（保護者／2 年生、5 年生）、中学校（保護者／2 年生）

（２）調査方法

- ① 保育所・認定こども園・幼稚園で、アンケート用紙を配布または配信。
回答した用紙を通所先へ提出またはグーグルフォームに回答。
- ② 学校で、アンケート用紙を配付。児童が家庭で回答し、学校へ提出。
- ③ 学校のタブレット端末で、グーグルフォームに回答。
- ④ 学校から配信またはポータルサイトへグーグルフォームへのリンクを掲載。グーグルフォームに回答。

（３）調査期間

令和 3 年 7 月 5 日（月）～7 月 16 日（金）

（４）対象人数と回答率

種類	対象人数	回答数	回答率
保育所・認定こども園・幼稚園（保護者／年中組）	705 人	380 人	53.9%
小学校（2 年生，5 年生）	1,405 人	1,288 人	91.7%
小学校（保護者／2 年生，5 年生）	1,405 人	580 人	41.3%
中学校（2 年生）	641 人	619 人	96.6%
中学校（保護者／2 年生）	641 人	265 人	41.3%

（５）アンケートの結果

〔子ども向けアンケート調査の結果概要〕

前回のアンケートで、「本を読むことが好きか？」という質問には、「好き」「どちらかといえば好き」と回答した合計が 83.8%でした。今回、小学生は 90%を超えています。中学 2 年生は 74.6%と減少し、不読率（1 か月に 1 冊も読まない）は、中学 2 年生は 11.1%と増加しています。これは、学校で読書タイムの確保が難しいことが一因に考えられます。

「本を読むことが大切だと思うか？」という質問には、「大切」「どちらかといえば大切」と回答した中学生は 90%を超えており、読書の大切さは伝わっています。反対に、小学 2 年生は 75%で、前回調査より 17.3%減少しています。読書の意義を伝えることが、今後の課題です。

「この 1 年の間に、図書館へ行ったことがあるか？」という質問には、前回調査に比べて「ない」と回答した割合が増加しました。行かなかった理由は「時間が無い」ことが多く、「誰と行くか」という質問には、「家族」が多いことから、家族と時間が合わない図書館に来ることが難しいことがわかりました。

今回新たに、情報通信機器についての質問を追加しました。情報通信機器の利用が一日平均 2 時間以上と回答した中学生は 60%を超えており、日常生活に浸透していることがわかりました。

〔保護者向けアンケート調査の結果概要〕

「家庭では、どのくらい本を読んであげているか？」について、75.6%の保護者が週 1 回以上、読みきかせをしていると回答しました。しかし、小学 2 年生の保護者は 43.1%で、子どもが「読書の大切さ」を感じる部分に影響を及ぼしています。

「本を読む事が大切だと思うか？」について、前回「大切だと思う」「どちらかといえば大切だと思う」と回答した保護者は 97%でしたが、今回は 99%でした。

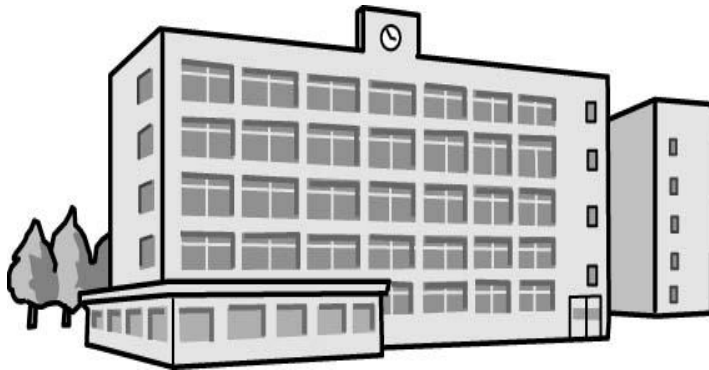
ブックスタート事業で受け取った絵本の活用の有無にかかわらず、「ブックスター

ト事業で絵本を受け取り、読み聞かせに対する意識が変わったか？」という質問に対して、「読み聞かせをするようになった」保護者は 55.6%で、前回調査の 31.8%から 23.8%増加しました。

自由記述欄の意見には、「年齢にあった本が知りたい」「読み聞かせや読書の時間が取れない」といった悩みや、「公民館の本を充実させてほしい」「学校で読書時間を取ってほしい」「駅やショッピングセンターなど身近な場所で本を借りたい」といった要望、「子ども同士で本の話をする時間をつくる」「読書を強要しない」「漫画など多様な読書体験を許容する活動を」といった意見がみられました。

なお、アンケート調査結果の詳細は次ページのとおりです。

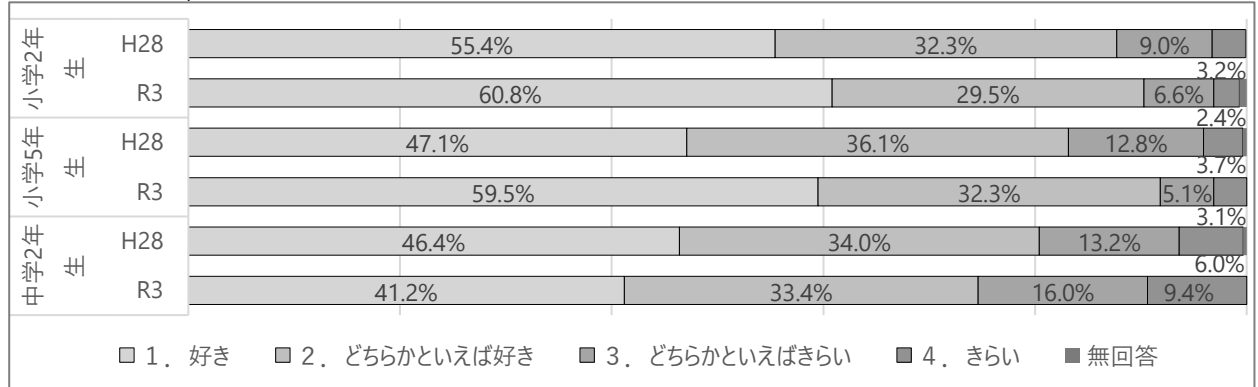
子ども向けアンケート調査結果の詳細



子ども向けアンケートの結果詳細

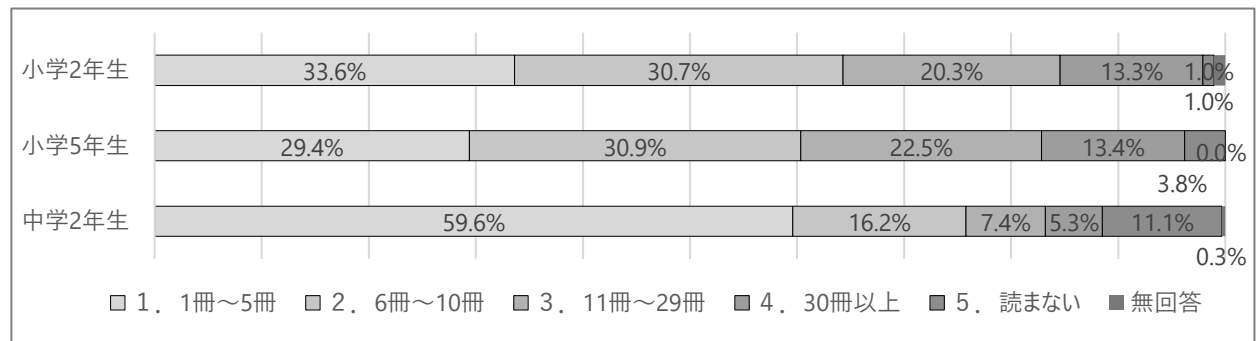
サンプル数	小学2年生	小学5年生	中学2年生
	577	711	619

問1 あなたは、本を読むことが好きですか？



	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	H28	R3	H28	R3	H28	R3
1. 好き	55.4%	60.8%	47.1%	59.5%	46.4%	41.2%
2. どちらかといえば好き	32.3%	29.5%	36.1%	32.3%	34.0%	33.4%
3. どちらかといえばきらい	9.0%	6.6%	12.8%	5.1%	13.2%	16.0%
4. きらい	3.2%	2.4%	3.7%	3.1%	6.0%	9.4%
無回答	0.1%	0.7%	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%

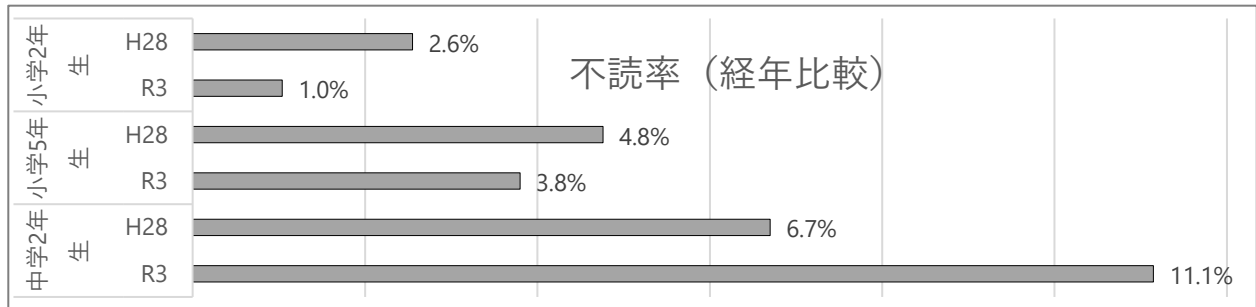
問2 あなたは、1か月に何冊くらい本を読みますか？（電子書籍を含む）



	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. 1冊～5冊	33.6%	29.4%	59.6%
2. 6冊～10冊	30.7%	30.9%	16.2%
3. 11冊～29冊	20.3%	22.5%	7.4%
4. 30冊以上	13.3%	13.4%	5.3%
5. 読まない	1.0%	3.8%	11.1%
無回答	1.0%	0.0%	0.3%

子ども向けアンケートの結果詳細

サンプル数	小学2年生	小学5年生	中学2年生
	577	711	619



	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	H28	R3	H28	R3	H28	R3
不読率	2.6%	1.0%	4.8%	3.8%	6.7%	11.1%

問3 本を読まないのはなぜですか？（いくつでも）

	小学2年生	小学5年生	中学2年生
サンプル数	6	12	69
1. つまらない	23.1%	16.7%	18.4%
2. 他の遊びの方がおもしろい	23.1%	20.0%	21.4%
3. 時間がない	7.7%	10.0%	14.4%
4. 文章を読むのが苦手	7.7%	16.7%	18.4%
5. 読みたい本がない	7.7%	13.3%	13.9%
6. 何を読んだらよいかわからない	23.1%	8.3%	10.0%
7. その他	0.0%	11.7%	2.0%
無回答	7.7%	3%	1.5%

「その他」の回答

小5（7人）：興味がない／面白い本が見つからない／字がわからなくて困る／
字を読むのが嫌い／動いていないから／日能研がある

中2（4人）：時間の無駄／読んでも得することがない／他のことをしたい

問4 あなたは、読み聞かせなど本を読んでもらうことが好きでしたか？

※小学校2年生は、「本を読んでもらうことが好きですか？」という質問になっています。

	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. 好き	59.4%	37.8%	24.1%
2. どちらかといえば好き	25.1%	38.8%	43.6%
3. どちらかといえば嫌い	5.9%	14.5%	18.9%
4. 嫌い	2.6%	7.2%	10.3%
5. 読んでもらったことがない	1.7%	1.7%	3.1%
無回答	5.2%	0.0%	0.0%

子ども向けアンケートの結果詳細

サンプル数	小学2年生	小学5年生	中学2年生
	577	711	619

（問4で「どちらかといえばきらいだった」「きらいだった」と答えた人へ）

問5 その理由は何ですか？（いくつでも）

	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. つまらない	15.5%	25.6%	35.3%
2. 他の遊びの方がおもしろい	19.0%	20.5%	11.8%
3. 自分で読むほうが楽しい	56.9%	48.4%	45.5%
4. その他	3.4%	5.0%	6.7%
無回答	5.2%	0.5%	0.8%

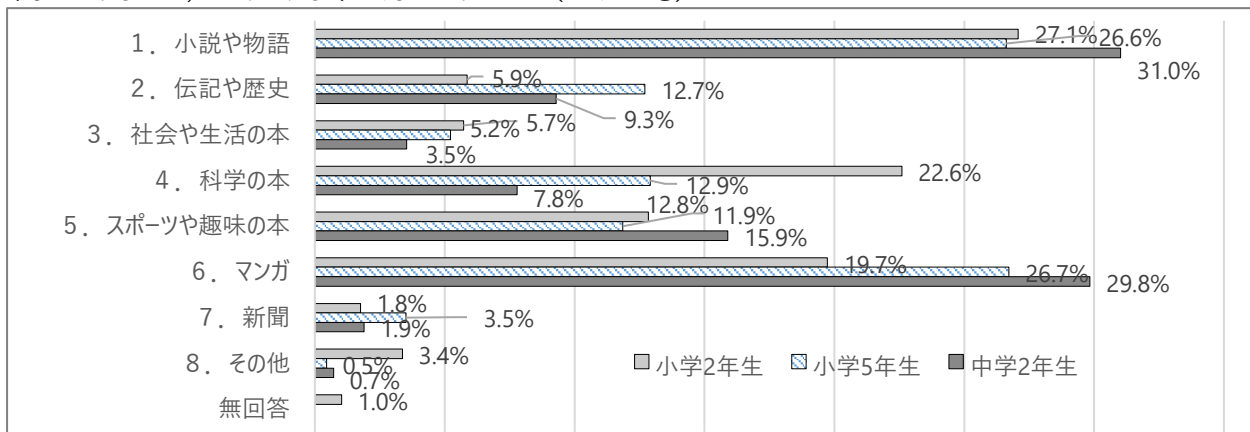
「その他」で目立った回答

小2（1人）：自分のスピードと違うと疲れる

小5（11人）：自分のペースで読みたかった／自分で考えながら読むのが好き／時間がかかる／
数人で聞くと静かに読めないから

中2（17人）：自分が読みたい本ではない／ペースが違う／飽きる

問6 あなたは、どのような本が好きですか？（いくつでも）



	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. 小説や物語	27.1%	26.6%	31.0%
2. 伝記や歴史	5.9%	12.7%	9.3%
3. 社会や生活の本	5.7%	5.2%	3.5%
4. 科学の本	22.6%	12.9%	7.8%
5. スポーツや趣味の本	12.8%	11.9%	15.9%
6. マンガ	19.7%	26.7%	29.8%
7. 新聞	1.8%	3.5%	1.9%
8. その他	3.4%	0.5%	0.7%
無回答	1.0%	0.0%	0.0%

「その他」の回答

小2（46人）：図鑑／なぞなぞ／料理の本

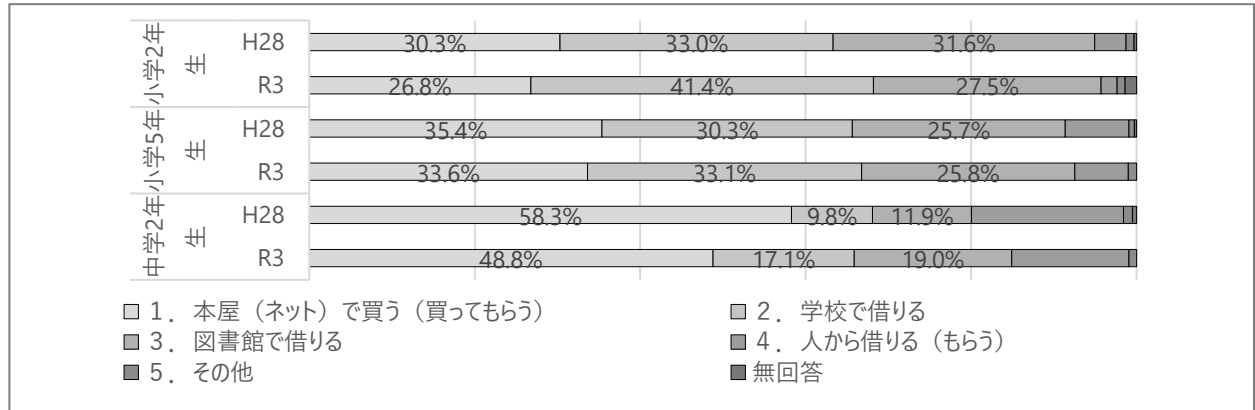
小5（9人）：勉強系／雑誌

中2（11人）：ない／勉強の本／エッセイ

子ども向けアンケートの結果詳細

サンプル数	小学2年生	小学5年生	中学2年生
	577	711	619

問7 あなたは、読みたい本をどのようにして手に入れますか？（いくつでも）



	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	H28	R3	H28	R3	H28	R3
1. 本屋（ネット）で買う（買ってもらう）	30.3%	26.8%	35.4%	33.6%	58.3%	48.8%
2. 学校で借りる	33.0%	41.4%	30.3%	33.1%	9.8%	17.1%
3. 図書館で借りる	31.6%	27.5%	25.7%	25.8%	11.9%	19.0%
4. 人から借りる（もらう）	3.8%	1.9%	7.7%	6.5%	18.4%	14.2%
5. その他	1.0%	1.0%	0.7%	1.0%	1.1%	0.9%
無回答	0.3%	1.4%	0.3%	0.0%	0.5%	0.0%

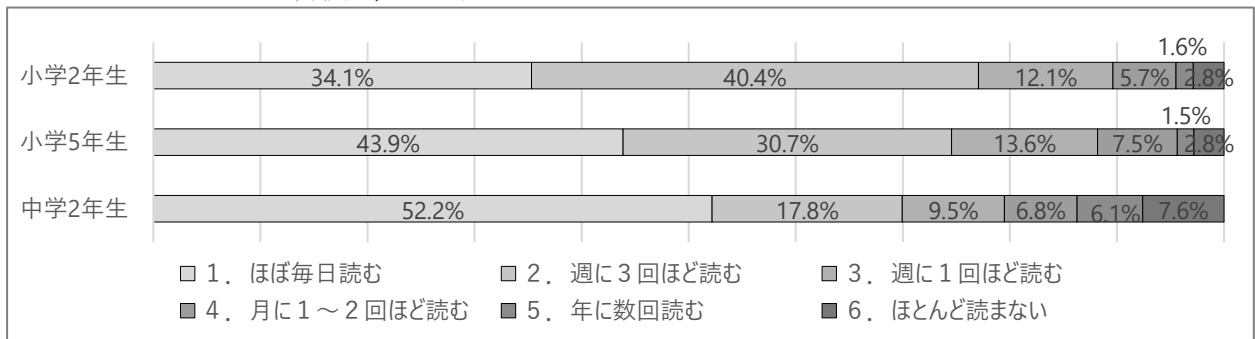
「その他」の回答

小2（11人）：ネットで見ると（借りる）／家にある／児童クラブ／配本サービス

小5（16人）：アプリで読む／児童クラブ／家の中から探す／買ってもらえない

中2（11人）：電子書籍／読みたい本がない／ネット

問8 あなたの本を読む習慣は、主に次のどれにあたりますか？

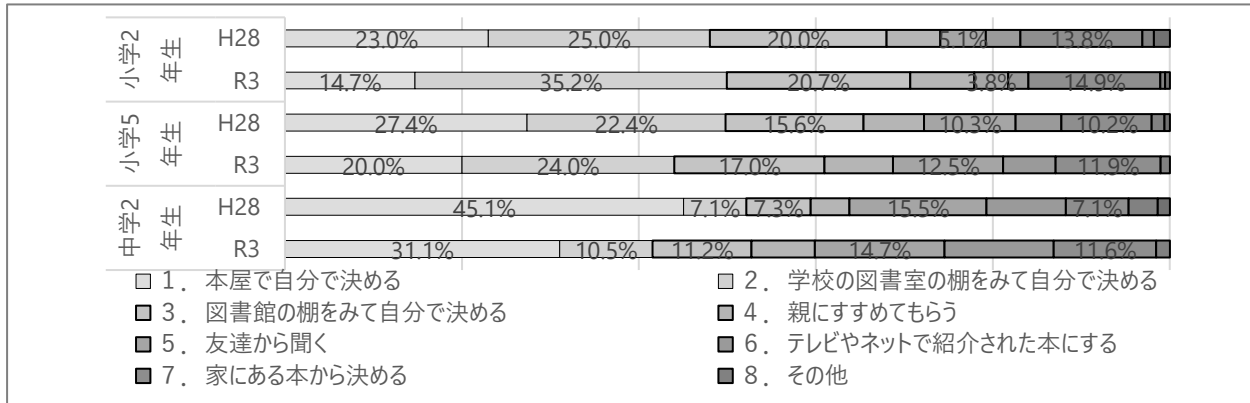


	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. ほぼ毎日読む	34.1%	43.9%	52.2%
2. 週に3回ほど読む	40.4%	30.7%	17.8%
3. 週に1回ほど読む	12.1%	13.6%	9.5%
4. 月に1～2回ほど読む	5.7%	7.5%	6.8%
5. 年に数回読む	1.6%	1.5%	6.1%
6. ほとんど読まない	2.8%	2.8%	7.6%

子ども向けアンケートの結果詳細

サンプル数	小学2年生	小学5年生	中学2年生
	577	711	619

問9 あなたは、読む本をどのようにして決めていますか？（いくつでも）



	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	H28	R3	H28	R3	H28	R3
1. 本屋で自分で決める	23.0%	14.7%	27.4%	20.0%	45.1%	31.1%
2. 学校の図書室の棚をみて自分で決める	25.0%	35.2%	22.4%	24.0%	7.1%	10.5%
3. 図書館の棚をみて自分で決める	20.0%	20.7%	15.6%	17.0%	7.3%	11.2%
4. 親にすすめてもらう	6.1%	7.2%	6.8%	7.7%	4.4%	7.1%
5. 友達から聞く	5.1%	3.8%	10.3%	12.5%	15.5%	14.7%
6. テレビやネットで紹介された本にする	3.9%	2.3%	5.2%	5.9%	9.0%	12.3%
7. 家にある本から決める	13.8%	14.9%	10.2%	11.9%	7.1%	11.6%
8. その他	1.3%	0.5%	1.4%	1.0%	3.3%	1.5%
無回答	1.8%	0.5%	0.6%	0.0%	1.3%	0.0%

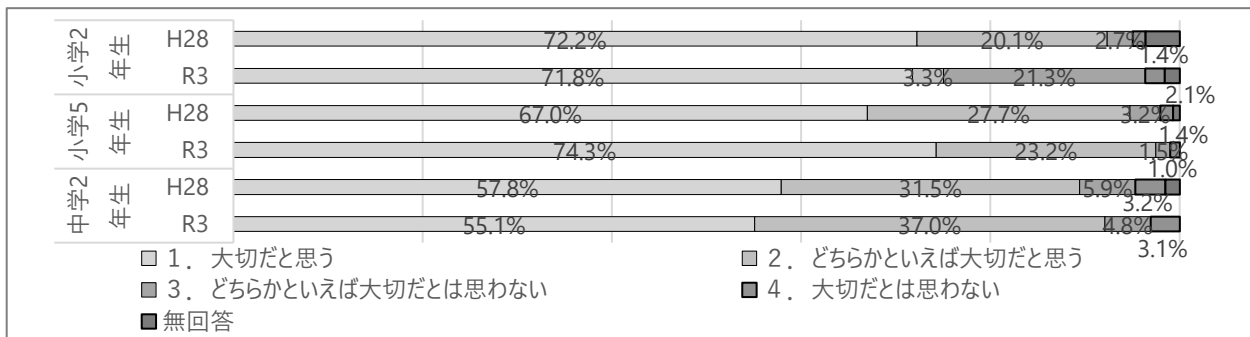
「その他」で目立った回答

小2（7人）：読んだことがない本／塾などで興味を持つ／上級生に聞く／自分で決める

小5（21人）：気分／続編／適当

中2（24人）：適当／作者／アニメ／ノベライズ

問10 あなたは、本を読むことが大切だと思いますか？



	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	H28	R3	H28	R3	H28	R3
1. 大切だと思う	72.2%	71.8%	67.0%	74.3%	57.8%	55.1%
2. どちらかといえば大切だと思う	20.1%	3.3%	27.7%	23.2%	31.5%	37.0%
3. どちらかといえば大切だとは思わない	2.7%	21.3%	3.2%	1.5%	5.9%	4.8%
4. 大切だとは思わない	1.4%	2.1%	1.4%	1.0%	3.2%	3.1%
無回答	3.6%	1.6%	0.7%	0.0%	1.5%	0.0%

子ども向けアンケートの結果詳細

サンプル数	小学2年生	小学5年生	中学2年生
	577	711	619

（問10で「大切だと思う」「どちらかといえば大切だと思う」と答えた人へ）

問11 あなたは、どのようなときに本を読んでいたよかったですか？（いくつでも）

	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. 読んでいておもしろい	36.2%	29.6%	27.8%
2. 知らないことがわかる	33.4%	27.4%	25.0%
3. 考える力がつく	14.1%	20.2%	21.0%
4. 文字や言葉についてくわしくなる	14.6%	20.2%	23.8%
5. その他	1.0%	2.6%	2.4%
無回答	0.8%	0.1%	0.0%

「その他」で目立った回答

小2（10人）：漢字が読めるようになった／優しくなった／元気が出た／あたまがよくなった

小5（49人）：読解力がつく／想像力がつく／早く読める／友達に紹介できる

（問10で「どちらかといえば大切だと思わない」「大切だと思わない」と答えた人へ）

問12 大切だと思わないのはなぜですか？

	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. 何の役にも立たないと思うから	45.0%	44.4%	28.0%
2. 他にやることがあるから	30.0%	55.6%	44.0%
3. その他	5.0%	0.0%	22.0%
無回答	20.0%	0.0%	6.0%

「その他」で目立った回答

小2（2人）：つまらない／文が長い

中2（11人）：つまらない／読書以外にも大切なこともあるから／自分の夢と関連性がない

問13 あなたのまわりに、本をよく読んでいる人はいますか？（いくつでも）

	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. お父さん・お母さん	23.6%	21.2%	17.6%
2. 兄弟・姉妹	26.1%	23.3%	18.8%
3. おじいちゃん・おばあちゃん	9.0%	8.8%	8.5%
4. 友達	34.9%	43.7%	48.0%
5. いない	3.6%	1.8%	5.8%
6. その他	0.9%	1.2%	1.4%
無回答	1.9%	0.0%	0.0%

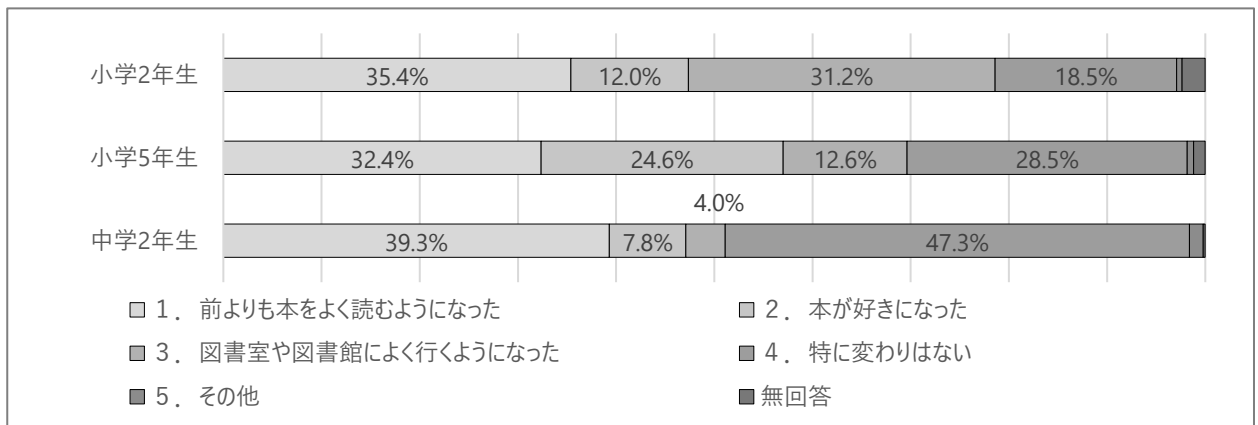
子ども向けアンケートの結果詳細

サンプル数	小学2年生	小学5年生	中学2年生
	577	711	619

問14 あなたの学級には、「読書タイム」はありますか？

	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. ある	92.7%	83.4%	81.3%
2. ない	4.5%	16.6%	18.7%
無回答	2.8%	0.0%	0.0%

問15 それによってどんなことが変わりましたか？



	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. 前よりも本をよく読むようになった	35.4%	32.4%	39.3%
2. 本が好きになった	12.0%	24.6%	7.8%
3. 図書室や図書館によく行くようになった	31.2%	12.6%	4.0%
4. 特に変わりはない	18.5%	28.5%	47.3%
5. その他	0.5%	0.7%	1.4%
無回答	2.4%	1.2%	0.2%

「その他」で目立った回答

小2（3人）：色々なことがわかるようになった／本が自分で読めるようになった／漢字が読めるようになった

小5（4人）：知識が前より豊富になった／より本を楽しく読めた／勉強が進むようになった

中2（7人）：もともと好き／周囲の読んでいる本がわかった／本が嫌いになった／面倒

子ども向けアンケートの結果詳細

サンプル数	小学2年生	小学5年生	中学2年生
	577	711	619

問16 あなたは、この1年の間に、学校の図書室に行ったことがありますか？

	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. ある	97.1%	97.3%	70.6%
2. ない	0.2%	2.7%	29.4%
無回答	2.8%	0.0%	0.0%

問17 図書室に行ったのは何のためですか？（いくつでも）

小学2年生	H28	33.9%	34.5%	28.9%	
	R3	32.4%	23.7%	42.3%	
小学5年生	H28	26.7%	28.2%	41.9%	
	R3	20.4%	35.0%	42.5%	
中学2年生	H28	37.4%	28.8%	24.1%	
	R3	17.0%	37.9%	34.2%	
<input type="checkbox"/> 1. 調べ学習などの授業 <input type="checkbox"/> 2. 本を読むため <input type="checkbox"/> 3. 本を借りるため <input type="checkbox"/> 4. その他 <input type="checkbox"/> 無回答					

	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	H28	R3	H28	R3	H28	R3
1. 調べ学習などの授業	33.9%	32.4%	26.7%	20.4%	37.4%	17.0%
2. 本を読むため	34.5%	23.7%	28.2%	35.0%	28.8%	37.9%
3. 本を借りるため	28.9%	42.3%	41.9%	42.5%	24.1%	34.2%
4. その他	0.9%	1.0%	2.0%	2.1%	9.1%	10.9%
無回答	1.7%	0.6%	1.2%	0.0%	0.5%	0.0%

「その他」で目立った回答

小2（11人）：調べもの／頭をよくするため

小5（30人）：委員会／調べもの／本を探すため

中2（69人）：友達の付き合い／勉強／暇だった／委員会／どんな本があるか見るため

問18 図書室に行かなかった理由は何ですか？（いくつでも）

	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. 本に興味がない	50.0%	9.7%	20.0%
2. 図書室が遠い	16.7%	3.2%	4.8%
3. 本屋さんで買うことが多い	0.0%	22.6%	30.6%
4. 時間がない	0.0%	19.4%	17.4%
5. 家に読みたい本がある	0.0%	29.0%	12.6%
6. 新しい本が少ない	0.0%	3.2%	7.1%
7. その他	33.3%	6.5%	7.4%
無回答	0.0%	6.5%	0.0%

「その他」で目立った回答

小2（2人）：混んでいる／読みたいと思わない

小5（2人）：みんなが借りていて汚い／図書館の本が好き

中2（23人）：面倒／人が多い／遊びたい／他人が使っていて汚い／無駄／行こうとしても開いていない

子ども向けアンケートの結果詳細

サンプル数	小学2年生	小学5年生	中学2年生
	577	711	619

問19 あなたは、学級文庫の本を読みますか？

	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. 読む	67.1%	59.6%	27.0%
2. 読まない	17.9%	35.3%	48.3%
3. 学級文庫はない	9.4%	5.1%	24.7%
無回答	5.7%	0.0%	0.0%

問20 どんなときに学級文庫の本を読むことが多いですか？

	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. 読書タイム	71.1%	44.3%	67.7%
2. 休み時間	15.1%	11.6%	9.0%
3. 自由時間・空き時間	7.9%	32.8%	16.1%
4. 家に帰ってから	2.0%	7.1%	1.9%
5. その他	2.7%	3.8%	4.5%
無回答	1.2%	0.5%	0.6%

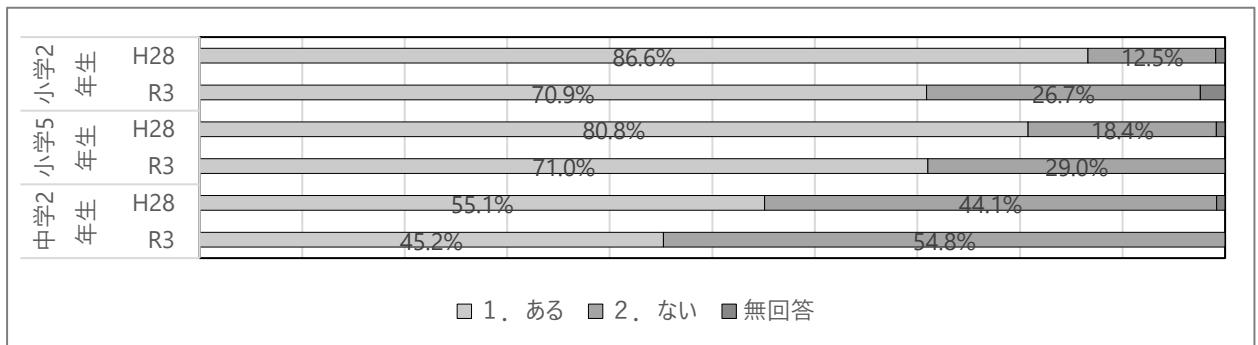
「その他」で目立った回答

小2（11人）：モジュール／朝時間／学童

小5（16人）：本を持っていない時／給食の後／暇な時

中2（7人）：本を忘れたとき／暇な時

問21 あなたは、この1年の間に、図書館へ行ったことがありますか？

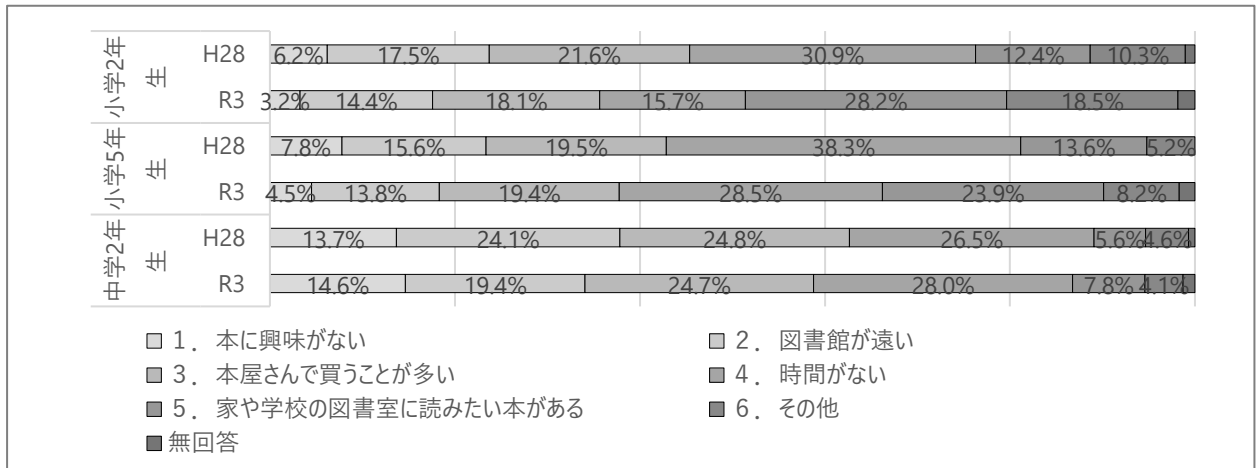


	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	H28	R3	H28	R3	H28	R3
1. ある	86.6%	70.9%	80.8%	71.0%	55.1%	45.2%
2. ない	12.5%	26.7%	18.4%	29.0%	44.1%	54.8%
無回答	0.9%	2.4%	0.9%	0.0%	0.8%	0.0%

子ども向けアンケートの結果詳細

サンプル数	小学2年生	小学5年生	中学2年生
	577	711	619

問22 図書館に行かなかった理由は何ですか？



	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	H28	R3	H28	R3	H28	R3
1. 本に興味がない	6.2%	3.2%	7.8%	4.5%	13.7%	14.6%
2. 図書館が遠い	17.5%	14.4%	15.6%	13.8%	24.1%	19.4%
3. 本屋さんで買うことが多い	21.6%	18.1%	19.5%	19.4%	24.8%	24.7%
4. 時間がない	30.9%	15.7%	38.3%	28.5%	26.5%	28.0%
5. 家や学校の図書室に読みたい本がある	12.4%	28.2%	13.6%	23.9%	5.6%	7.8%
6. その他	10.3%	18.5%	5.2%	8.2%	4.6%	4.1%
無回答	1.0%	1.9%	0.0%	1.7%	0.7%	1.3%

「その他」で目立った回答

小2（40人）：コロナ／一人で行けない／行きたいと思わない

小5（29人）：コロナ／行く気がない／面倒

中2（26人）：コロナ／行きたくない／家族が借りてくるから／面倒

（問21で「ある」と答えた人へ）

問23 図書館には、どのくらい行きますか？

	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. ほとんど毎日	2.9%	8.4%	1.8%
2. 週に3回くらい	5.3%	11.6%	1.8%
3. 週に1回くらい	13.4%	19.1%	5.7%
4. 2週間に1回くらい	25.4%	18.5%	14.6%
5. 1ヶ月に1回くらい	23.9%	23.0%	31.1%
6. 年に3回くらい	22.0%	15.5%	39.6%
7. その他	6.2%	3.3%	4.3%
無回答	1.0%	0.6%	1.1%

「その他」で目立った回答

小2（26人）：年に1～2回，2～3ヶ月に1回

小5（17人）：年に数回，2～3ヶ月に1回

中2（12人）：年に1回，2～3ヶ月に1回

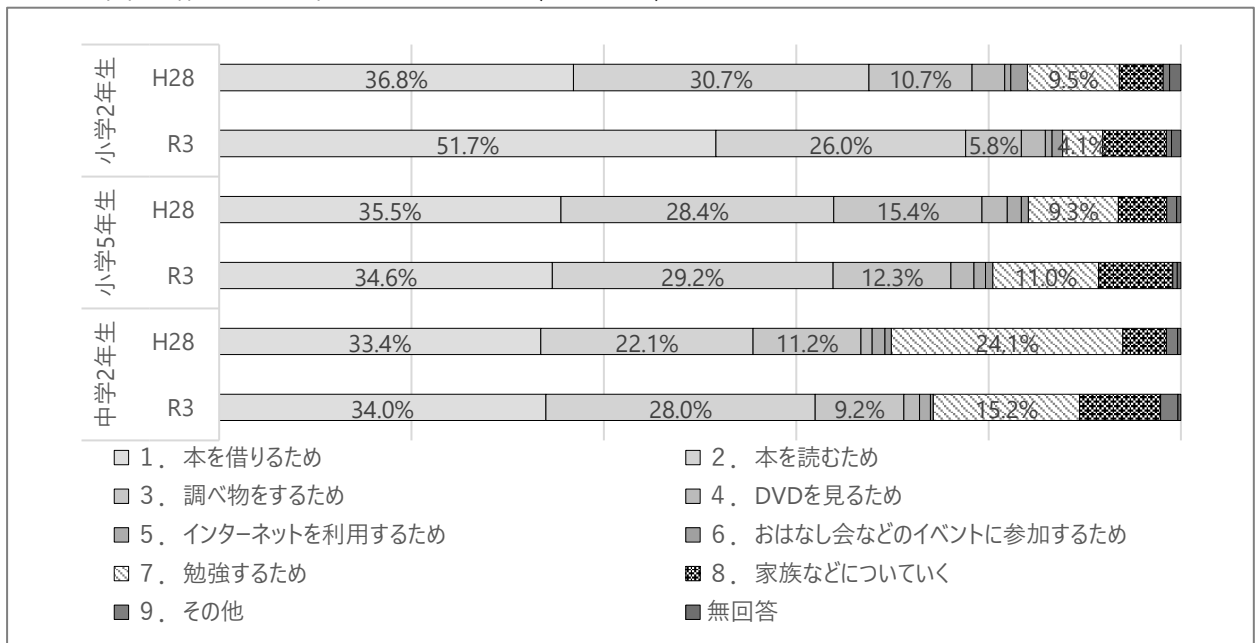
子ども向けアンケートの結果詳細

サンプル数	小学2年生	小学5年生	中学2年生
	577	711	619

問24 図書館に行くときは、誰と行くことが多いですか？

	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. 自分だけで	4.5%	13.6%	22.6%
2. 家族	87.5%	67.2%	48.6%
3. 友達	5.9%	16.7%	26.4%
4. その他	0.9%	0.6%	0.7%
無回答	1.2%	2.0%	1.7%

問25 図書館に行くのは何のためですか？（いくつでも）

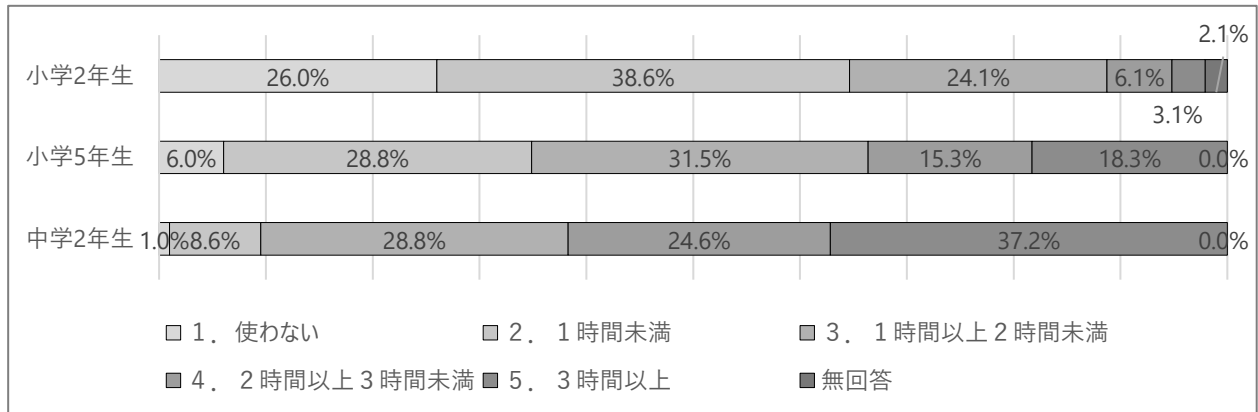


	小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	H28	R3	H28	R3	H28	R3
1. 本を借りるため	36.8%	51.7%	35.5%	34.6%	33.4%	34.0%
2. 本を読むため	30.7%	26.0%	28.4%	29.2%	22.1%	28.0%
3. 調べ物をするため	10.7%	5.8%	15.4%	12.3%	11.2%	9.2%
4. DVDを見るため	3.4%	2.5%	2.7%	2.4%	1.2%	1.6%
5. インターネットを利用するため	0.6%	0.7%	1.5%	1.2%	1.3%	1.1%
6. おはなし会などのイベントに参加するため	1.7%	1.1%	0.7%	0.8%	0.7%	0.3%
7. 勉強するため	9.5%	4.1%	9.3%	11.0%	24.1%	15.2%
8. 家族などについていく	4.6%	6.6%	5.0%	7.7%	4.5%	8.4%
9. その他	0.6%	0.6%	1.0%	0.5%	1.2%	1.8%
無回答	1.2%	1.0%	0.5%	0.4%	0.3%	0.3%

子ども向けアンケートの結果詳細

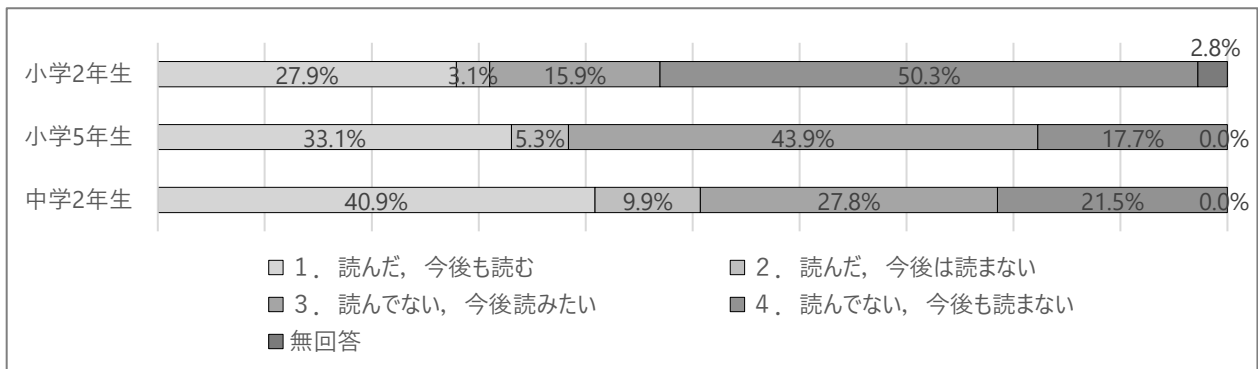
サンプル数	小学2年生	小学5年生	中学2年生
	577	711	619

問27 一日（平均）してどれくらいの時間、スマートフォン・タブレット・パソコンを使いますか？



	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. 使わない	26.0%	6.0%	1.0%
2. 1時間未満	38.6%	28.8%	8.6%
3. 1時間以上2時間未満	24.1%	31.5%	28.8%
4. 2時間以上3時間未満	6.1%	15.3%	24.6%
5. 3時間以上	3.1%	18.3%	37.2%
無回答	2.1%	0.0%	0.0%

問28 あなたは、「電子書籍」を読んだことがありますか？また、読んでみたいと思いますか？



	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. 読んだ、今後も読む	27.9%	33.1%	40.9%
2. 読んだ、今後は読まない	3.1%	5.3%	9.9%
3. 読んでない、今後読みたい	15.9%	43.9%	27.8%
4. 読んでない、今後も読まない	50.3%	17.7%	21.5%
無回答	2.8%	0.0%	0.0%

保護者向けアンケート調査結果の詳細



保護者向けアンケートの結果詳細

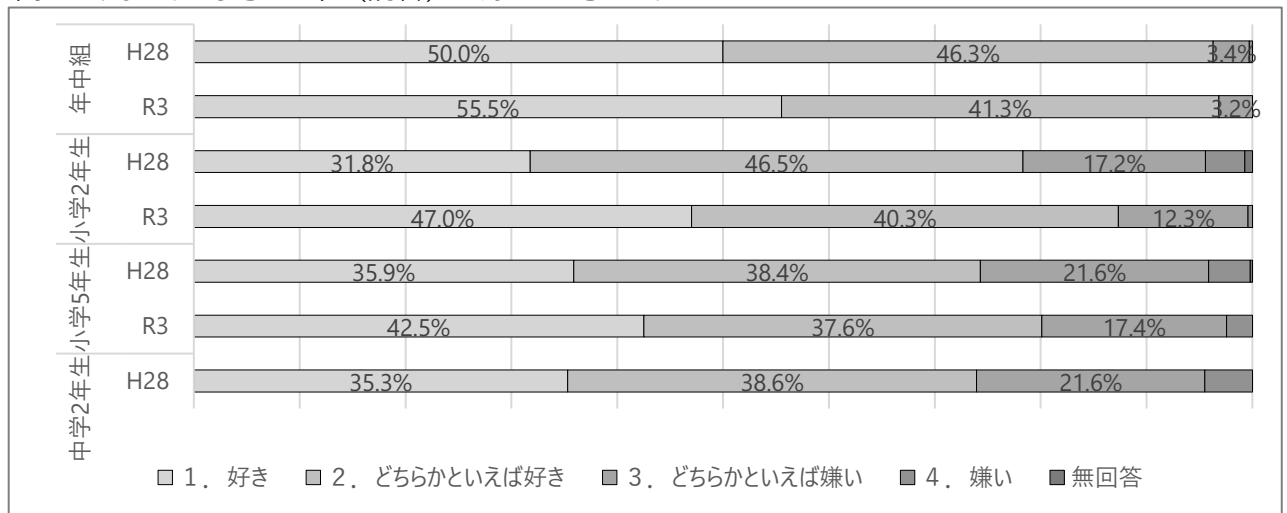
サンプル数	年中組（4歳児）	小学2年生	小学5年生	中学2年生
	380	253	327	265

あなたとお子さんの関係を教えてください。

	年中組	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. 父	7.1%	5.9%	4.6%	3.8%
2. 母	92.9%	94.1%	95.1%	95.4%
3. 祖父	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 祖母	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
5. その他	0.0%	0.0%	0.3%	0.4%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

その他の回答 小学5年生（1人）：子

問1 あなたのお子さんは本（読書）が好きだと思いますか？

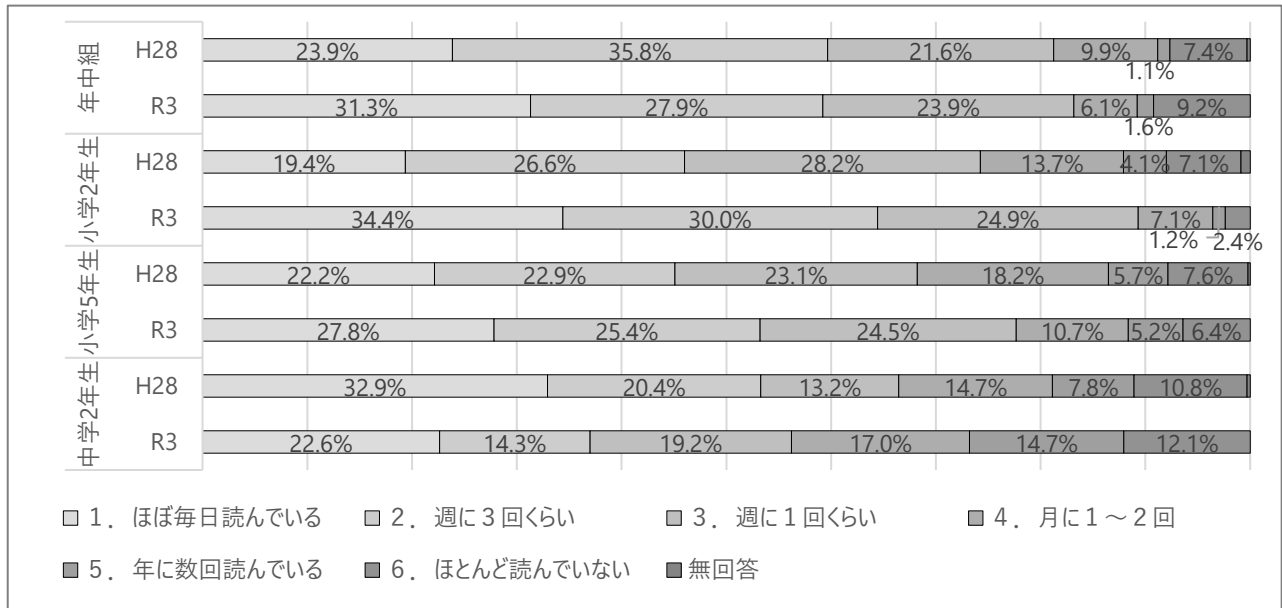


	年中組		小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	H28	R3	H28	R3	H28	R3	H28	R3
1. 好き	50.0%	55.5%	31.8%	47.0%	35.9%	42.5%	35.3%	34.3%
2. どちらかといえば好き	46.3%	41.3%	46.5%	40.3%	38.4%	37.6%	38.6%	32.8%
3. どちらかといえば嫌い	3.4%	3.2%	17.2%	12.3%	21.6%	17.4%	21.6%	27.5%
4. 嫌い	0.3%	0.0%	3.7%	0.4%	3.9%	2.4%	4.5%	5.3%
無回答	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%

保護者向けアンケートの結果詳細

サンプル数	年中組（4歳児）	小学2年生	小学5年生	中学2年生
	380	253	327	265

問2 あなたのお子さんは、自分でどのくらい本を読んでいますか？



	年中組		小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	H28	R3	H28	R3	H28	R3	H28	R3
1. ほぼ毎日	23.9%	31.3%	19.4%	34.4%	22.2%	27.8%	32.9%	22.6%
2. 週に3回くらい	35.8%	27.9%	26.6%	30.0%	22.9%	25.4%	20.4%	14.3%
3. 週に1回くらい	21.6%	23.9%	28.2%	24.9%	23.1%	24.5%	13.2%	19.2%
4. 月に1～2回	9.9%	6.1%	13.7%	7.1%	18.2%	10.7%	14.7%	17.0%
5. 年に数回	1.1%	1.6%	4.1%	1.2%	5.7%	5.2%	7.8%	14.7%
6. 読んでいない	7.4%	9.2%	7.1%	2.4%	7.6%	6.4%	10.8%	12.1%
無回答	0.3%	0.0%	0.9%	0.0%	0.2%	0.0%	0.3%	0.0%

問3 普段、ご家庭では主にどなたが、お子さんに本を読んであげていますか？

※小学5年生及び中学2年生の保護者の方に対しては、お子さんが小さかった頃のことをお聞きました。

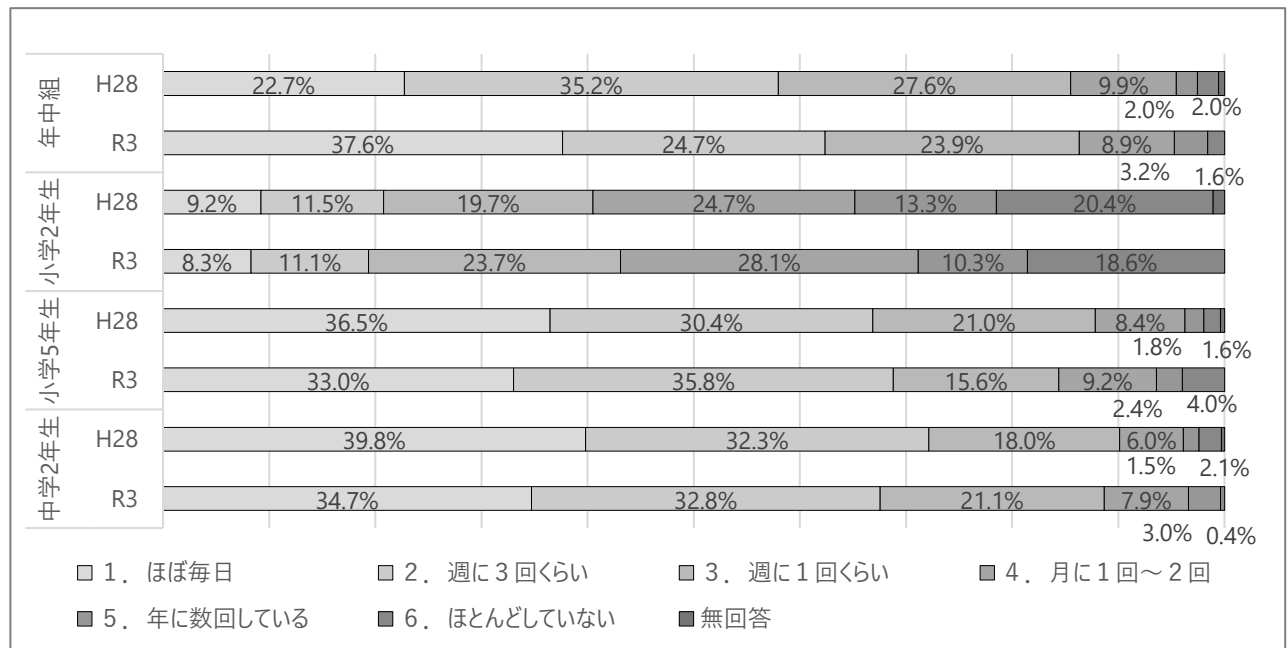
	年中組	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. 父	22.1%	7.9%	5.8%	5.3%
2. 母	73.4%	73.5%	88.1%	89.8%
3. 祖父母	1.6%	1.2%	4.0%	4.9%
4. 兄・姉	1.1%	2.4%	0.6%	0.0%
5. おじ・おば	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6. その他	1.1%	15.0%	1.5%	0.0%
無回答	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%

保護者向けアンケートの結果詳細

サンプル数	年中組（4歳児）	小学2年生	小学5年生	中学2年生
	380	253	327	265

問4 ご家庭では、どのくらい本を読んであげていますか？

※小学5年生及び中学2年生の保護者の方に対しては、お子さんが小さかった頃のことをお聞きました。



	年中組		小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	H28	R3	H28	R3	H28	R3	H28	R3
1. ほぼ毎日	22.7%	37.6%	9.2%	8.3%	36.5%	33.0%	39.8%	34.7%
2. 週に3回	35.2%	24.7%	11.5%	11.1%	30.4%	35.8%	32.3%	32.8%
3. 週に1回	27.6%	23.9%	19.7%	23.7%	21.0%	15.6%	18.0%	21.1%
4. 月に1～2回	9.9%	8.9%	24.7%	28.1%	8.4%	9.2%	6.0%	7.9%
5. 年に数回	2.0%	3.2%	13.3%	10.3%	1.8%	2.4%	1.5%	3.0%
6. していない	2.0%	1.6%	20.4%	18.6%	1.6%	4.0%	2.1%	0.4%
無回答	0.6%	0.0%	1.1%	0.0%	0.4%	0.0%	0.3%	0.0%

問5 あなたのお子さんは、本をどのようにして入手されますか？

	年中組	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. 図書館や公民館図書室で借りる	40.5%	43.1%	41.6%	25.3%
2. 本屋(ネット)で買う(買ってもらう)	39.2%	28.5%	31.8%	55.8%
3. 通学(園・所)先で借りる	4.7%	27.3%	23.5%	11.3%
4. 通園(所)先の定期購読	7.4%	0.0%	0.6%	0.4%
5. 人から借りる(もらう)	3.9%	0.4%	0.3%	2.6%
6. ほとんど借りないし買わない	1.8%	0.4%	1.2%	4.2%
7. その他	2.4%	0.4%	0.9%	0.4%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

保護者向けアンケートの結果詳細

サンプル数	年中組（4歳児）	小学2年生	小学5年生	中学2年生
	380	253	327	265

問6 あなたご自身は、読書がお好きですか？

	年中組	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. 好き	34.7%	32.0%	33.3%	34.0%
2. どちらかといえば好き	40.3%	46.6%	40.4%	45.3%
3. どちらかといえば嫌い	21.8%	18.6%	21.7%	18.1%
4. 嫌い	3.2%	2.8%	4.6%	2.6%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

（どちらかといえば嫌い・嫌いを答えた方へ）

問7 その理由は何ですか？

複数回答可

	年中組	小学2年生	小学5年生	中学2年生
サンプル数	95	54	86	55
1. つまらない	0.0%	0.0%	4.7%	1.8%
2. 他に楽しいことがあるから	17.9%	33.3%	12.8%	14.5%
3. 文章を読むのが苦手	46.3%	25.9%	30.2%	43.6%
4. 時間がない	29.5%	40.7%	51.2%	32.7%
5. その他	5.3%	0.0%	1.2%	5.5%
無回答	1.1%	0.0%	0.0%	1.8%

問8 あなたは本をどのようにして、入手されますか？

	年中組	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. 図書館や公民館図書室で借りる	26.3%	32.0%	31.2%	32.8%
2. 本屋(ネット)で買う(買ってもらう)	57.9%	57.3%	58.7%	55.1%
3. 人から借りる（もらう）	1.6%	1.2%	1.5%	2.6%
4. ほとんど借りないし買わない	13.9%	9.1%	7.3%	9.1%
5. その他	0.0%	0.4%	1.2%	0.4%
無回答	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%

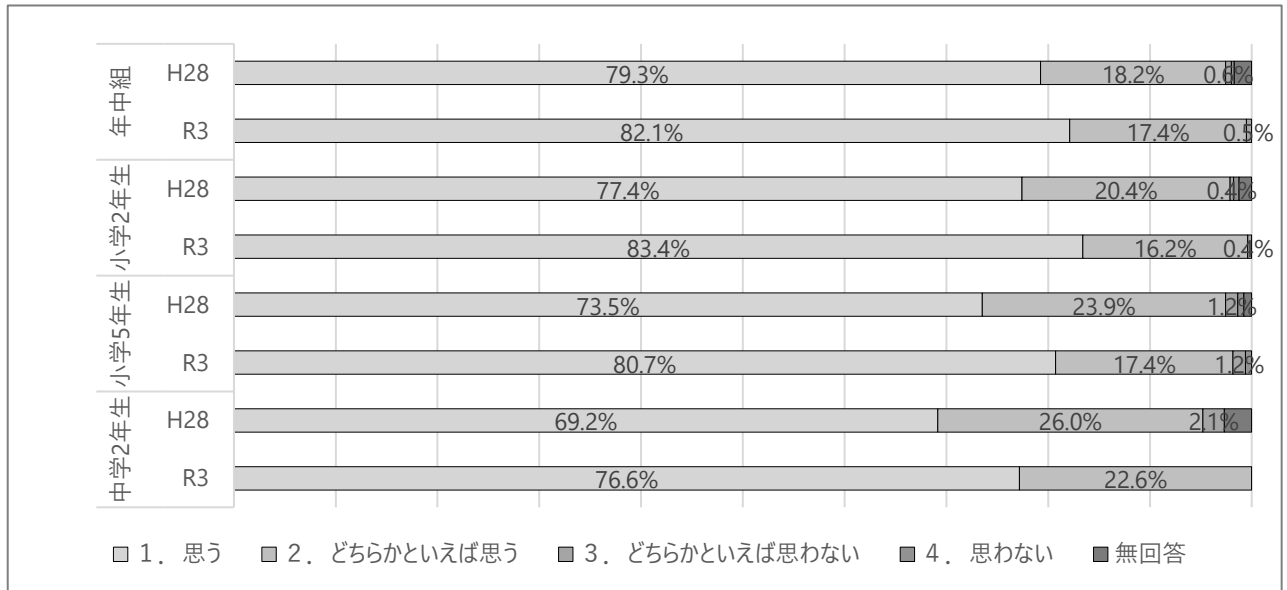
問9 あなたは市の図書館（公民館図書室含む）をどのくらい利用されますか？

	年中組	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. 週に3回以上	0.3%	1.2%	0.3%	0.4%
2. 週に1回くらい	10.0%	9.9%	8.9%	8.7%
3. 月に1回～2回	32.6%	33.6%	30.3%	26.0%
4. 年に数回	20.0%	22.5%	32.4%	36.2%
5. ほとんど利用していない	37.1%	32.8%	28.1%	28.7%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

保護者向けアンケートの結果詳細

サンプル数	年中組（4歳児）	小学2年生	小学5年生	中学2年生
	380	253	327	265

問10 あなたは、本を読むことが大切だと思いますか？



	年中組		小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	H28	R3	H28	R3	H28	R3	H28	R3
1. 思う	79.3%	82.1%	77.4%	83.4%	73.5%	80.7%	69.2%	76.6%
2. どちらかといえば思う	18.2%	17.4%	20.4%	16.2%	23.9%	17.4%	26.0%	22.6%
3. どちらかといえば思わない	0.6%	0.5%	0.4%	0.4%	1.2%	1.2%	2.1%	0.8%
4. 思わない	0.3%	0.0%	0.5%	0.0%	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%
無回答	1.7%	0.0%	1.2%	0.0%	0.8%	0.0%	2.7%	0.0%

問11 （思わない、どちらかといえば思わないと答えた人へ）理由を教えてください。

年中組(4歳児) (2人)：未記入

小2 (1人)：好きなら読めばいいが嫌いなら嫌々読む必要はないと思う

小5 (3人)：ネットニュースで十分と思っているから／様々なツールが発達しているから

問12 あなたは子どもの頃、読み聞かせなど、誰かに本を読んでもらったことがありますか？

	年中組	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. よく読んでもらった	35.8%	23.3%	21.4%	18.1%
2. 読んでもらったことがある	41.6%	46.2%	45.0%	38.5%
3. 読んでもらったことはない	7.1%	11.9%	15.6%	17.0%
4. 覚えていない	15.5%	18.6%	18.0%	26.4%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

保護者向けアンケートの結果詳細

サンプル数	年中組（4歳児）	小学2年生	小学5年生	中学2年生
	380	253	327	265

問13 3・4か月児健康診査の際に、ブックスタート事業として、お配りした絵本は、活用されましたか？

	年中組	小学2年生	小学5年生	中学2年生
1. 活用した	69.2%	75.1%	76.8%	72.8%
2. 活用していない	5.5%	3.6%	1.8%	1.1%
3. 守谷に住んでいなかった	21.8%	18.2%	12.8%	17.4%
4. 覚えていない	3.4%	3.2%	8.6%	8.3%
5. その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

（活用した・活用していないと答えた方へ）

問14 ブックスタート事業で絵本を受け取り、読み聞かせに対する意識が変わりましたか？

年中組	H28	5.1%	43.8%	37.2%	5.1%	8.8%
	R3	11.3%	48.9%	32.7%	6.3%	0.7%
小学2年生	H28	8.0%	36.8%	39.6%	6.2%	9.4%
	R3	6.5%	55.8%	37.2%	0.5%	0.0%
小学5年生	H28	4.7%	34.1%	41.8%	8.0%	11.4%
	R3	8.0%	54.0%	32.2%	0.0%	3.8%
中学2年生	H28	2.4%	12.6%	49.7%	13.8%	21.6%
	R3	10.7%	63.8%	22.4%	0.0%	1%

☐ 1. おはなし会へ参加するようになった
 ☐ 2. 読み聞かせをするようになった
 ☐ 3. 特に変わらない
 ☐ 4. その他
 ☐ 無回答

	年中組		小学2年生		小学5年生		中学2年生	
	H28	R3	H28	R3	H28	R3	H28	R3
1. おはなし会へ参加するようになった	5.1%	11.3%	8.0%	6.5%	4.7%	8.0%	2.4%	10.7%
2. 読み聞かせをするようになった	43.8%	48.9%	36.8%	55.8%	34.1%	54.0%	12.6%	63.8%
3. 特に変わらない	37.2%	32.7%	39.6%	37.2%	41.8%	32.2%	49.7%	22.4%
4. その他	5.1%	0.7%	6.2%	0.5%	8.0%	0.0%	13.8%	0.0%
無回答	8.8%	6.3%	9.4%	0.0%	11.4%	3.8%	21.6%	3.1%

「その他」の回答

年中組（2人）：長期休みのときに、図書館で本を借りに行くことが多くなった/覚えていない

小2（1人）：カードを作成したので、図書館をよく利用するようになった

小5（1人）：本はボロボロになるまで親子で何度も読みました。元々本好きなので、これで意識が変わった訳ではありませんが、素敵なプレゼントでした。

問15 子どもの読書活動を推進するにあたっての、ご意見・ご要望をお書きください。

※ 次ページをご覧ください。

保護者用アンケート調査 自由記述欄

子どもの読書活動を推進するに当たっての、ご意見・ご要望をお書きください。

子ども読書活動推進計画策定への意見や各施設への要望など、219 件のご意見を頂きました。全体的には、計画策定には肯定的な意見が多く寄せられました。

意見の中には、学校や図書館で既に行っている事業への実施要望もあり、周知することの大切さを知りました。

意見の一部を抜粋して紹介します。

保育所・こども園・幼稚園の保護者

- 現在 2 週間借りることができますが、忙しく返却までがとても早いと感じています。もう 1 週間伸びて 3 週間になるといいなと思っています。
→予約がなければ 1 回まで延長できます(窓口・電話・パスワード登録でネットからも可)。最大 4 週間貸出可能です。
- 公民館等でも本が借りられ、助かる。本を事前に予約できて、探す時間が短くなり、コロナ禍でも、行きやすかった。
- 紙芝居や絵本の読み聞かせを幼稚園でどんどんしてほしいです。子供の読んで欲しい本をリクエストに答えて読んで欲しい。
- コロナがおさまったら図書館の読み聞かせに参加させたい
- 親の手をかりなくても、自らの足で本を借りる場所に行けるようにすれば良いと思います。図書館や公民館内図書館以外の子供の行きやすい場所に出張する等。
- 子どもの本の扱いが雑でよくやぶるので、図書館の本はまだ利用できないが、将来的には利用したい。
→万が一本が破れても、図書館で修理できる場合があります。

小学校 2 年生の保護者

- 子どもは周りの友達が読んでいる本に興味を持つので、子ども同士で本の話をする機会が多いと良いのかと思います。
- 読書で知識がつく事も大事だが、何より本を読む事を楽しんで欲しい。なのであまり強要はしたくない。
- 私が小学生の頃、年に数回、読み聞かせの会？の方が来校し、各学年ごとにその年齢に適した本を読んでもくれる日がありました。是非子供達にもそのような機会があれば良いなと思います。
→ボランティア団体や、保護者が来校し、読み聞かせが行われている学校があります。

- 学校の図書館で週1回本を借りてくるので読書の習慣は付いてきているように思う。
- 学校で目標とされる読書の数に漫画はカウントされませんが、漫画も漢字や表現方法を学ぶ上では教材になり得ると思います。加えても良いのではないのでしょうか。
- 学校で読書時間を確保して欲しい。
- 校内図書館からの貸し出し機会を増やしてほしい。
→図書室での密を防ぐ取り組みとして、1～2 週間の中で休み時間に使用する学年・クラスを決めている学校があります。
- 学年にあった本の選び方が知りたい。
- 子の発育・教育にとって読み聞かせや読書が重要であることは認識しているが、フルタイム共働きのため時間がとれない。

小学校5年生の保護者

- 夏休みなどは、「〇年生向けの本」というのをたくさん見かけますが、図書館などでは年中表示してほしいです。
- 学校での読書の時間をもっと増やしてほしいです。
- ブックスタートの活動、とても良いと思っております。小学校に上がってからは特に、オススメの本の紹介を知る機会が少なくなった様に感じます。興味の方向性が多種になるので、紹介をするのが難しいのかもしれませんが、図書館にあるオススメ本を知る機会(例えば、広報や学校に手紙の配布など)があるといいなと思います。
- 読書通帳のような自分の読書履歴がわかるものがあつたらいいと思います。
→図書館のホームページからログインすると、自分が借りた本の履歴を記録したり、自分で読みたい本を設定できるの「My 本棚」という機能があります。
ぜひ利用いただきたいと思います。
- 小さい子向けの読み聞かせが多いので、もう少し高学年の子も楽しめる読み聞かせの会があつたら、また参加したいです。
- 本は読むが、漫画形式のものばかりで、それが悪いとは言わないが学年も上がってきたので活字の本も読めるよう年齢に合わせたオススメなどを教えて頂けるといいなと思います。
- 本の選択が難しい事もあるので、福袋のような機会が増えて欲しい。
→「図書館お楽しみ袋」を貸出するイベントを、12月に図書館で行っています。
- 学年別のおすすめの本を掲載してほしい。
→図書館では、毎月「図書館新聞」を作成しています。低学年用、高学年用、

中学生用の３種類があり、各学校の図書室にも配布しています。

- 親自身が普段から本に慣れ親しんでいる様子を見せたり、本の話をしてもらって、読書を身近な環境に置く事が大切だと思う。学校では先生が本をたまにでも良いので読んであげてもいいと思う。

中学校２年生の保護者

- 乳幼児だけでなく、それ以降もその歳にあった本の配布などをしてくれると、本を読むきっかけになったりすると思う。
- 子供達へおすすめ図書を紹介するお手紙の配布を行う。学校の図書室をもっと魅力的に工夫する。（おすすめ図書を中心に子供達が手に取ってみたいくなるポップの作成、レイアウトなど）月に一度、先生方も含め（先生が共に読書する事が非常に大切だと思います。）それぞれの読んだ本の紹介カードを作成させ、発表の場を設ける。
- 学校で読書の時間を設けて頂いた時は、読書に大変興味を持っていたので、またそのような時間を設けて頂けるといいのではないのでしょうか。
- 中学校では読書タイムがあるようなので、とても良いと思います。図書館で借りた本でも学校で読んで良いとしてほしい。良いと思っていたら、小学校の先生には図書館で借りた本は学校に持って来ては駄目だと言われた。本を買うのはお金がかかるので。沢山の本が読めなくなります。
- 学校の授業カリキュラムの中に読書する時間を少しでも取り入れたり、子どもたちがこんな本を読んでこんなところが面白かったなど、お勧めし合う時間があったら良いと思う。
- 読んだ本の感想を言い合ったり、お勧めの本を紹介し合う機会がもっと増えれば良いと思います。
- ゆっくり本を読む時間がとれたらいいのと思います。
- 小学校ではよく本を読んでいても、中学校に入ると読まなくなる子が多いので、何か図書館と中学校が連携して推進活動ができるとよいと思います。
- 本好き以外の子供は読書の時間を強制的に用意しないと本は読まないのではないか。スマホ、ゲームをする為の時間を作る方が基本、熱心。

ホームページへの意見の掲載について

頂いた意見の全部を守谷市及び図書館のホームページでご覧いただくことができます。なお、掲載に当たっては、回答者の意見を忠実に伝えるため、明らかな誤字・脱字と個人が特定できるような情報以外は原則としてそのままにしてありますので、ご了承ください。

2 市内子ども読書活動実施施設に関するアンケート調査

今回の計画策定に当たり、市内の施設に対してアンケート調査を実施しました。学校図書館は、5月に同様の調査を実施しています。

このアンケート結果から得られた情報や要望は、今回の計画にもできる限り反映させ、また、今後も子どもの読書活動推進に関する取組についての貴重な資料として活用していきます。

（１）調査対象

市内の保育所（園）・認定こども園・幼稚園、子育て支援施設、児童クラブ、障がい児通所支援事業所を対象として調査を実施しました。

障がい児通所支援事業所は、読書活動の実施施設ではありませんが、障がい児の読書活動を推進するために、調査対象に加えました。

保育所（園）・認定こども園・幼稚園 35 か所、子育て支援施設 4 か所、児童クラブ 8 か所、障がい児通所支援事業所 9 か所から回答を得ることができました。

（２）調査項目及び結果

調査項目及び結果については、次ページをご覧ください。

（３）調査期間及び方法

令和３年７月１９日（月）～８月６日（金）

調査用紙を各施設へ送付。記入後、FAX、E-mail で提出またはグーグルフォームに回答。



子ども読書活動実施施設に関するアンケート調査

	問1 お話の時間（読み聞かせ）を実施していますか？（名称・時間・演者・所要時間・その他気にかけていること）
A 保育園	・実施 ・11分～30分程度 ・月刊絵本を各自購入し、個々の絵本として1か月間園内に置き、それぞれ先生が読んでいる
B 保育園	・実施 ・一日の保育の中で行っている お昼寝前、17:30～17:50 ・先生・支援員が実施 ・11分～30分程度
C 保育園	・実施 ・「ごほんのじかん」 ・毎日 ・先生・支援員が実施 ・11分～30分程度 ・季節・行事・生活習慣など、その時にあった本選びを心がけています。 ・誕生会など集会の時は、パネルシアター・ペープサートなど視覚から楽しめるお楽しみも取り組んでいます。各クラスで、年間購読の本も購入をして読み聞かせをしています。異年齢合同保育中では、年長児が読み聞かせを低年齢児にしてあげることもあり、見守っています。
D 保育園	・実施 ・「絵本の時間」 ・毎週月曜日～金曜日 ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度 ・行事等伝統を伝えたり日常のことを絵本を通じて色々と学ぶ機会を持てるようにする。
E 保育園	・実施 ・毎日 ・保護者ボランティアが実施 ・保育時間内
F 保育園	・実施 ・誕生会などの行事の時・早朝保育・遅番保育 ・先生・支援員が実施 ・1回10分～15分程度
G 保育園	・実施 ・毎日 早・遅番、日中保育中 午睡前や食後 ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度
H 保育園	・未実施
I 保育園	・実施 ・「読み聞かせ」 ・月～金 食事前、午睡前 ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度
J 保育園	・実施 ・「読み聞かせの時間」 ・毎日、朝帰りの会、午睡前 ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度 ・様々な絵本、パネルシアターなどをとり入れている
K 保育園	・実施 ・毎日朝、ランチ前、午睡前、帰りの会でなど複数回・実施 ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度 ・毎日紙芝居や絵本の読み聞かせを・実施。また、絵本の貸し出しも通年で行っている。
L 保育園	・実施 ・午睡前、給食前 ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度
M 保育園	・実施 ・「お話の時間」 ・毎日 ・先生・支援員が実施 ・午睡前、17時から
N 保育園	・未実施
O 保育園	・未実施
P 保育園	・実施 ・「読み聞かせ」 ・随時 ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度 ・子供が興味を持てる話
Q 保育園	・実施 ・「絵本（もしくは紙芝居）の時間」 ・主に給食前や昼寝前、子どもが求めてきた時、毎日 ・先生・支援員が実施 ・1回10分～15分くらい（年齢によって異なる） ・絵本・紙芝居が主で、時々パネルシアター等

子ども読書活動実施施設に関するアンケート調査

	問1 お話の時間（読み聞かせ）を実施していますか？（名称・時間・演者・所要時間・その他気にかけていること）
A 認定こども園	・実施 ・帰りの会 ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度
B 認定こども園	・実施 ・「読み聞かせ」 ・毎日 降園前14:00から 遅番17:00から ・保護者ボランティアが実施 ・5～10分程度 ・大型絵本 パネルシアター
A 地域型保育園	・実施 ・「絵本の時間」 ・毎日（平日） ・保護者ボランティアが実施 ・朝の会の中で9時半～、帰りの会の中で3時～ 2・3分くらい（昼食前1冊、昼寝前2冊） ・時々パネルシアター（ピアノ伴奏付き）
B 地域型保育園	・実施 ・特に名前はありません。常に「読んで」と持ってきた本を読んでいる。 午睡前は20分位読み聞かせを行う ・いつでも子どもが読んでほしい時 ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度, 11分～30分程度 ・時々パネルシアターやエプロンシアターをすることもある。絵本の貸し出しを毎週2～3冊行う。
C 地域型保育園	・実施 ・「絵本の時間」 ・ほぼ毎日 ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度, 11分～30分程度 ・季節や時期に合わせた内容の作品を取り入れる
D 地域型保育園	・実施 ・「おはなしのじかん」 ・毎日給食前 ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度 ・本を好きになること及び言語の発達
E 地域型保育園	・実施 ・毎日、午睡の前 ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度 ・季節や行事にちなんだ本を読む。食育につながるような本を読む。子どもの興味に合わせて本を選んでいる。繰り返し読むことも大切にしている。
A 幼稚園	・実施 ・「読み聞かせ」 ・毎月第2水曜日13時半から ・保護者ボランティアが実施 ・5～10分程度
B 幼稚園	・実施 ・朝の集まりの時間、帰りの集まりの時間 ・先生・支援員、保護者ボランティアが実施 ・5～10分程度, 11分～30分程度
C 幼稚園	・実施 ・降園前の時間 ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度
A 認証保育園	・実施 ・「お絵本の時間」 ・あいた時間も含め、いつでも ・だれでも
B 認証保育園	・実施 ・毎日 ・先生・支援員が実施 ・31分～1時間程度 ・机に本を並べ自由に触れられる。そこから選んできた本を読み聞かせる。
C 認証保育園	・実施 ・朝、夕方（ほぼ毎日） ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度 ・子供が飽きずに集中できるよう、月齢に合わせた絵本を選ぶようにしている。
D 認証保育園	・実施 ・活動の隙間時間や子どもが見たがった際 ・先生・支援員が実施 ・時間は決まりなし

子ども読書活動実施施設に関するアンケート調査

	問1 お話の時間（読み聞かせ）を実施していますか？（名称・時間・演者・所要時間・その他気にかけていること）
A 企業保育園	・実施 ・毎週水曜16時から ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度 ・本好きになってもらうため通年で実施
B 企業保育園	・実施 ・「毎日」 ・自由時間 お昼寝前 ・先生・支援員が実施 ・自由保育なので決まっていない ・パネルシアター、ペープサートはお誕生日会に実施
C 企業保育園	・実施 ・「お話の時間」 ・毎日12:30頃から ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度 ・午睡前に静の時間を作るため実施
D 企業保育園	・実施 ・保育中 ・先生・支援員が実施 ・10:00
守谷市地域子育て支援センター	・実施 ・「おたのしみ」 ・毎日（月曜日から金曜日） ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度 ・パネルシアター、ペープサートなども取り入れている。絵本の貸し出しを行い、絵本カードを作成。読んで返した子にはシールのプレゼントを行い、絵本に親しみやすい環境づくりを行っている。
南守谷児童センター	・実施 ・「年齢別イベント内（ひよこのおへや、くじらタイム、ドレミランド、なかよし広場等）」 ・不特定曜日 ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度
北守谷児童センター	・実施 ・トットくらぶ ・月に7回 ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度 ・季節感を大切にしている。母親が、読み聞かせ好きになるよう意識している。
守谷駅前親子ふれあいルーム	・実施 ・各年齢別講座の中で実施 ・毎月第2第4火曜日、土曜日 ・講座担当職員が実施 ・2分～5分程度 ・パネルシアターや動画配信を行っている
A 児童クラブ	・実施 ・毎日（月～金曜日） ・支援員と本読みをしたい児童が実施 ・17:15から
B 児童クラブ	・実施 ・「読み聞かせ」 ・活動前 ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度
C 児童クラブ	・実施 ・毎週火曜日と木曜日 ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度
D 児童クラブ	・未実施
E 児童クラブ	・実施 ・「読み聞かせ」 ・毎日 ・先生・支援員、マネージャーが実施 ・下校後または昼食後 ・絵本の楽しさを味わう、想像力を高めていく
F 児童クラブ	・実施 ・「読み聞かせ」 ・おやつの前または後 ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度
G 児童クラブ	・実施 ・「読み聞かせ」 ・火曜日か木曜日 ・先生・支援員が実施 ・下校後
H 児童クラブ	・実施 ・「絵本の読み聞かせ」 ・毎週火・木曜日 ・先生・支援員が実施 ・下校後、10分くらい

子ども読書活動実施施設に関するアンケート調査

	問1 お話の時間（読み聞かせ）を実施していますか？（名称・時間・演者・所要時間・その他気にかけていること）
A 事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・実施 ・「読み聞かせ」 ・毎日、帰りの会の際（15：45頃） ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度 ・座ってお話を聞く集中力を養う事、（内容により）聞くだけでなく相互のやり取りの練習シーンの創出として
B 事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・未実施
C 事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・実施 ・「読み聞かせ」 ・隔週 ・先生・支援員が実施 ・おやつ後の余暇の時間
D 事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・実施 ・個別の支援中 ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度 ・絵本の楽しさを感じてほしい
E 事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・未実施
F 事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・実施 ・個別の療育指導の中で実施することがある。 ・先生・支援員が実施 ・1時間以上、ケースによって異なる。 ・児童の発達段階に応じて絵本を選択する等、絵本への興味・関心を促すような配慮をしている。
G 事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・実施 ・「おはなし会」 ・偶数月に1回 曜日が重ならないように設定 16時から（8月は10時半） ・おはなしボランティア ・31分～1時間程度 ・数年前から通年で、実施しています。内容はおはなしレインボーさんにお任せしています。お子様の利用曜日がそれぞれ違うので、どの曜日をご利用のお子様も参加できるように曜日が重ならないように設定しています。設定日以外の活動日は支援員がお子様の要望に応じて実施しています。
H 事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・実施 ・「読み聞かせ」 ・週1 ・先生・支援員が実施 ・11分～30分程度 ・大型絵本の使用・子供が参加できる内容に
I 事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・実施 ・「読み聞かせ」 ・週1回程度 ・先生・支援員が実施 ・5～10分程度 ・少しの時間でも子ども達が興味を持てるような話の流れやクイズ等で楽しく参加できるようにすること。また集団活動の一つとして、座っていただけること。

子ども読書活動実施施設に関するアンケート調査

	問2 図書室や図書コーナーはありますか？（名称・広さ・冊数・予算・貸出の有無・その他）
A 保育園	・設置している ・なないろ文庫 ・3畳・101～300冊 ・貸し出ししている ・おすすめの絵本，読んでもらいたい絵本を毎月取り上げている
B 保育園	・設置していない
C 保育園	・設置していない
D 保育園	・設置している ・玄関に本棚4つと各保育室に本棚を一つ ・101～300冊 ・予算は，必要に応じて ・貸し出ししていない ・子どもが自由に取れるところに設置している。また，季節物も取り入れるようのしている。
E 保育園	・設置していない
F 保育園	・設置している ・各保育室・ホール ・101～300冊 ・予算は，7～8円程度 ・貸し出ししていない
G 保育園	・設置している ・各クラスの1部分（2畳くらい） ・100冊以下 ・予算は，50,000円 ・貸し出ししていない
H 保育園	・設置していない
I 保育園	・設置している ・図書コーナー ・101～300冊 ・貸し出ししている
J 保育園	・設置している ・絵本コーナー ・各クラス本棚1台 ・301～1000冊 ・貸し出ししていない ・季節で入れかえる，自由に読める
K 保育園	・設置している ・図書コーナー ・2畳程度 ・301～1000冊 ・予算は，6万円 ・貸し出ししている ・気軽に読める環境を整備している
L 保育園	・設置していない
M 保育園	・設置していない
N 保育園	・設置していない
O 保育園	・設置している ・本のコーナー ・各クラス本棚1台分 ・100冊以下 ・貸し出ししていない ・子どもが自由に選べる配置
P 保育園	・設置している ・図書ゾーン ・本棚2台ほど ・100冊以下 ・予算は，4万円 ・貸し出ししていない ・年齢にあったもの，季節にあったもの
Q 保育園	・設置している ・貸し出し図書コーナー／各クラス絵本棚，ホールの絵本棚（特に名称なし） ・2畳くらい／各1畳くらい×6か所（いずれも本棚の幅で，読む場所はクラス，ホール等好きなところで読んでいる） ・301～1000冊 ・貸し出ししている ・年齢に合わせて興味がありそうな絵本を揃えている
A 認定こども園	・設置している ・本のコーナー ・3畳くらい ・301～1000冊 ・予算は，年度により相違あり ・貸し出ししていない
B 認定こども園	・設置している ・「今日読んだ本」 ・廊下に・設置 ・100冊以下 ・貸し出ししていない ・読んだ本の名前を“今日の保育”の掲示に記入している

子ども読書活動実施施設に関するアンケート調査

	問2 図書室や図書コーナーはありますか？（名称・広さ・冊数・予算・貸出の有無・その他）
A 地域型保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・設置している ・本棚・カラーボックス3段 ・101～300冊 ・予算は、5,000円くらい ・貸し出ししていない ・自由にいつでも読めるようにしている ・年度末は長めのお話、絵本を入れ替える ・いつも手に触れて見られるよう、表紙を前にしていつも何冊か子どもの目の高さに置いている
B 地域型保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・設置している ・子どもが2～3人絵本を見られる位 ・101～300冊 ・予算は、3～5万円 ・貸し出ししている ・絵本がいたむので、修理が多い。破かれたり、折り曲げたりすることもあるので、その都度修理する。自由に絵本を見る本棚と貸し出し用の本棚を区別することが難しい。
C 地域型保育園	・設置していない
D 地域型保育園	・設置していない
E 地域型保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・設置している ・名称は特にありませんが、絵本コーナーかなと思います。 ・2畳くらい ・101～300冊 ・予算は、10万 ・貸し出ししている ・新刊については、ブックカバーをしておろしている。 ・月ごとに入れ替えをし、子どもが飽きないようにしている。
A 幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・設置している ・会議室(図書棚)、各クラス ・会議室18畳。各クラスは、本棚1台程度 ・1001冊以上 ・予算は、10万円 ・貸し出ししている ・いつでも園児が自由に読める環境設定、季節で、入れ替えている。
B 幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・設置している ・図書室→えほんのもり ・図書室→20畳くらい ・1001冊以上 ・予算は、3万円 ・貸し出ししている
C 幼稚園	・設置していない
A 認証保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・設置している ・お絵本コーナー ・部屋の一角 ・101～300冊 ・予算は、10,000円 ・貸し出ししていない
B 認証保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・設置している ・ボックス2箱程度 ・寄付(100均の本など) ・貸し出ししている ・自由にさせる。手を離さない本がある場合、持ち帰り可能
C 認証保育園	・設置していない
D 認証保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・設置している ・絵本棚 ・幅約1m4段分 ・100冊以下 ・貸し出ししていない ・自由に選べる、子どもの興味に合わせて入替え
A 企業保育園	・設置していない
B 企業保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・設置している ・各部屋による3畳以上 ・101～300冊 ・貸し出ししていない
C 企業保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・設置している ・本のコーナー ・2畳くらい ・100冊以下 ・予算は、2万円 ・貸し出ししていない
D 企業保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・設置している ・1畳くらい ・100冊以下 ・予算は、一ヶ月1,000円 ・貸し出ししていない
守谷市地域子育て支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・設置している ・絵本コーナー ・各部屋に本棚1台 ・101～300冊 ・予算は、5,000円 ・貸し出ししている ・自由に読める、子どもたちが手に取りやすい場所に設置。各年齢に応じた絵本の数を用意。
南守谷児童センター	<ul style="list-style-type: none"> ・設置している ・特になし（ミ・ナーデコーナー内） ・4畳くらい ・101～300冊 ・予算は、10,000円程度 ・貸し出ししていない

子ども読書活動実施施設に関するアンケート調査

	問2 図書室や図書コーナーはありますか？（名称・広さ・冊数・予算・貸出の有無・その他）
北守谷児童センター	・設置している ・図書コーナー ・9畳 ・101～300冊 ・予算は、計上していない ・貸し出ししていない ・書庫が無く、本棚も増やせない状況なので、新しい本が入れにくい
守谷駅前親子ふれあいルーム	・設置している ・図書コーナー ・27.24平方メートル ・301～1000冊 ・貸し出ししていない
A 児童クラブ	・設置している ・1部屋 横180cm高さ90cm ・301～1000冊 ・予算は、30,000～50,000円 ・貸し出ししていない
B 児童クラブ	・設置している ・本棚 ・各クラス1台 ・101～300冊 ・予算は、3,000円程度 ・貸し出ししていない ・図書館から定期的に借りている
C 児童クラブ	・設置している ・本棚2台 多目的ボックス4台 ・101～300冊 ・予算は、3,000～5,000円程度 ・貸し出ししていない
D 児童クラブ	・設置している ・図書コーナー ・5～6m ・100冊以下 ・予算は、20,000円 ・貸し出ししていない
E 児童クラブ	・設置している ・スチール棚1段（段ボール2箱） ・101～300冊 ・予算は、10,000円程度 ・貸し出ししていない ・年2回程度、他クラスと交換
F 児童クラブ	・設置している ・180cm×150cm ・101～300冊 ・予算は、3万円くらい ・貸し出ししていない
G 児童クラブ	・設置している ・廊下の部分に設置 ・100冊以下 ・予算は、特に決めていない。相談しながら購入 ・貸し出ししていない
H 児童クラブ	・設置している ・図書コーナー ・各クラス2～3台 ・予算は、30,000円くらい ・貸し出ししていない ・貸出不可、人気の本を購入している
A 事業所	・設置している ・2部屋に本棚各1か所 ・100冊以下 ・貸し出ししていない
B 事業所	・設置していない
C 事業所	・設置していない
D 事業所	・設置していない
E 事業所	・設置していない
F 事業所	・設置している ・絵本コーナー ・廊下に設置してあるロッカー（長さ180cm）の上部に設置しています。 ・301～1000冊 ・予算は、数千円程度 ・貸し出ししていない ・子どもたちが自由に選べるように配慮する一方で、指導の一環で自由度をコントロールしなければならないこともあるため、絵本コーナーの位置を工夫しています。
G 事業所	・設置している ・カラーボックス1台程度 ・100冊以下 ・予算は、特になし（必要に応じて購入） ・貸し出ししていない ・文字を読めるお子さんがほとんどいないので、見て楽しめるものを中心にそろえています。 ・自由に利用できるように設置しています。
H 事業所	・設置していない
I 事業所	・設置していない

子ども読書活動実施施設に関するアンケート調査

サンプル数	保育所幼稚園	子育て支援施設	児童クラブ	障がい児通所支援事業所
回答施設数	35	4	8	9
対象施設数	38	4	9	11
回答率	92.1%	100.0%	88.9%	81.8%

問3 市図書館（公民館図書室含む）をどのように活用していますか（複数回答可）

	保育所幼稚園	子育て支援施設	児童クラブ	障がい児通所支援事業所
サンプル数	49	4	13	12
団体貸出	12.2%	25.0%	46.2%	16.7%
児童と来館・来室	6.1%			25.0%
おはなし会			23.1%	
幼稚園保育所用ブックパック	22.4%			
個人で借りる	49.0%	75.0%	30.8%	41.7%
利用していない	10.2%			16.7%

問4 市図書館にどのような支援を望みますか？（自由記述）

< 保育所・幼稚園 >

- ・おはなし会・読み聞かせ（図書館・ボランティア） 4件
- ・ブックパック（貸出回数増・特色あるブックパック） 5件
- ・紙芝居（貸出・ブックパック） 3件
- ・団体貸出 1件
- ・新刊やおすすめ本の情報 2件
- ・大型絵本ブックパック 1件
- ・大型絵本配送サービス 6件
- ・配送サービス 1件
- ・ボランティアによる読み書きの実施 1件

< 児童クラブ >

- ・団体用にも貸出バッグを用意してもらいたい 1件
- ・おはなし会 1件
- ・読み聞かせ 1件
- ・読み聞かせボランティアの紹介 1件

< 子育て支援施設 >

- ・読み聞かせ会 1件
- ・バス移動の図書館が施設に来る 1件
- ・保護者へ本の紹介イベント 1件
- ・大型絵本の配送サービス 1件

< 障がい児通所支援施設 >

- ・リサイクルブックフェアの活用 2件
- ・図書館またはボランティアの来所 2件
- ・おはなし会 1件
- ・図書館での障がい児向けおはなし会 1件

子ども読書活動実施施設に関するアンケート調査

問5 保護者に対して、読み聞かせ等の大切さや意義を伝える活動をしていますか？

	保育所幼稚園	子育て支援施設	児童クラブ	障がい児通所支援事業所
活動している	57.1%	100.0%	12.5%	44.4%
活動していない	42.9%		87.5%	55.6%

問6 どのような活動をしていますか？

	保育所幼稚園	子育て支援施設	児童クラブ	障がい児通所支援事業所
サンプル数	19	4	1	4
絵本の貸出	2			
おすすめ本の紹介	8	3		2
月刊誌などの定期購入	7			
ポスター掲示	1	1		
講演会などの開催				1
懇親会で資料配布	1			
読み聞かせ活動報告			1	1

問7 子供たちの読書活動推進についてご意見があればお聞かせください。(自由記述)

< 保育所・幼稚園 >

- ・小さい時に、どれだけ本に触れたかで、子どもたちの将来の勉強につながったり、感情が揺さぶられて心が豊かになっていくので、今後も大切に読書活動をしていきたいです。
- ・読書活動についてまだ不十分なので、これから園に色々取り入れていきたいと考えている。
- ・素敵な本に触れる機会をもてるようにしたいです。
- ・素敵な取り組みをされていらっしゃると思います。
- ・子どもが気軽に本に親しめるような環境を作ってほしい。
- ・電子化が進む世の中ですので、直接本に触れる、話を聞くなどを体験したいと思っています。
- ・貸し出し用の大型絵本、大型紙芝居の増冊を希望致します。
- ・月齢にあった絵本がどんなものかなどわかる資料（プリント）などを各家庭に配布出来たら勧めやすいかと思う。
- ・子どもが本を好きになるのは、すぐ手に取ってみることができることと、優しい声で読んでもらえることで、それが楽しみになることがとても良いですね。大いに絵本を借りてほしいです。
- ・守谷市は幼稚園に入ると、どこの園でも図書貸出をしているので良いことだと思っています。「図書室に借りに行く！」ということを親子で楽しめる何かがあったら良いと思います。

子ども読書活動実施施設に関するアンケート調査

<子育て支援施設>

- ・返却窓口を児童センターにも設置することで、本の回転をよくしていくと良いと思う。

<児童クラブ>

- ・読み聞かせは児童にとってとても意義のあることなので続けていきたい。
- ・今、子どもが興味のある本の情報が知りたいです。
- ・本があまり好きじゃない子どもたちに、どう推進していけばいいのか、支援員が模索しています。教えて頂ける機会があるといいのかなと思います。
- ・勉強の時間などの様子を見ていると、文章の読解力が欠けていて問題が理解できない子も多いようです。もっと本を読む習慣が身につくといいなと思います。

<障がい児通所支援施設>

- ・スマホやタブレットなどからは得られない体験として重要だと考えています。
- ・保護者に子供たちが楽しめる良い本を薦めていきたいと思います。
- ・障がいのある児童でも、もっと図書館に行きやすい雰囲気作りをしてほしいと思います。
- ・保護者の方が読書に親しめるような環境になっていければ、子どもたちの読書活動の推進につながると考えます。
- ・様々な理由で（例えば騒いでしまうので迷惑をかける、重度の障がいがあり外出が困難等）図書館に行けないお子さんや保護者の方も、気兼ねなく図書館を利用できる時間や訪問等のサービスがあればいいなどの希望を保護者の方から伺ったことがあります。（すでに同じようなサービスがあるのかもしれませんが）

子ども読書活動実施施設に関するアンケート調査（学校）

学校名	1 読書タイム （読書の時間） を実施しています か？	2 読書タイムの実施時間等 を具体的に教えてください。	3 読み聞かせを 実施しています か？	4 読み聞かせの実施時間、対象学 年、実施者など具体的にお答えくださ い。
大井沢 小学校	実施	朝20分・授業時間内	実施	月1回木曜日 朝の時間 全学年 ボ ランティアサークル
大野 小学校	実施	各学年 毎朝 10～15分 （登校して準備が終わり、モ ジュール・スキルタイム開始前ま で）	実施	月1回 昼休み 全学年希望者 読 み聞かせボランティア
高野 小学校	実施	火曜日・木曜日の朝 8:30～8:45	実施	各学年の担任が朝の会などで実施してい ます。 学校司書の先生による読み聞かせなども 行っています。 中央図書館による読み聞かせも行ってい ます。
守谷 小学校	実施	火曜日・木曜日 朝15分	実施	給食の放送時 放送委員会
黒内 小学校	未実施		実施	図書室割り当て日に、利用したクラスへ 読み聞かせ
御所ヶ丘 小学校	実施	水曜日 朝15分	実施	毎月第2水曜日 朝の時間 全学級 ボランティアサークル ※感染症予防のため、R3度の前期は中 止しています。
郷州 小学校	実施	金曜日の朝自習 15分	実施	まつぼっくり、6人、月1回の読み聞か せ、4月
松前台 小学校	実施	月曜日・金曜日毎朝15分	実施	昼休み 5年生の委員会の児童による 読み聞かせ
松ヶ丘 小学校	実施	月曜日 金曜日 の 朝 15分	実施	全学年対象 よむZO 不定期 朝の 学習の時間
守谷 中学校	実施	毎朝 8:10～8:25 15分間	未実施	
愛宕 中学校	実施	毎朝15分	未実施	
御所ヶ丘 中学校	実施	毎朝（授業前）10分	未実施	
けやき台 中学校	未実施		未実施	

子ども読書活動実施施設に関するアンケート調査（学校）

学校名	5 読み聞かせ団体はありますか？	6 読み聞かせの団体の名称、人数、活動内容、活動開始時期をお答えください。	7 学級文庫はありますか？	8 オリエンテーションを行っていますか？	9 オリエンテーションの実施時間、担当者、内容をお答えください
大井沢小学校	あり	OHL(大井沢・ヒューマン・ライブラリ)、複数人、支援学級や通常学級への読み聞かせ、不明(以前からある)	あり	全学年へ実施	授業1時間分、学校司書、図書室の使い方を教えたり、教科書の内容に沿って分類法を教えたり、本の紹介をしたりなどしている。
大野小学校	あり	保護者ボランティア（卒業生・在校生）4名 読み聞かせ R3.5.14～	あり	全学年へ実施	全学年 1時間 学校図書館司書が図書室の使い方や本の貸出返却方法の仕方など
高野小学校	なし		あり	全学年へ実施	全学年対象 4月上旬 45分間 内容(図書室の使い方・分類・おススメの本紹介・読み聞かせ)
守谷小学校	なし		あり	全学年へ実施	1～6年生 10分程度 司書 図書の借り方など（コロナ禍以前は、45分行っていた）
黒内小学校	なし		あり	全学年へ実施	実施時間：担任の先生が希望する時間（最高45分） 担当者：学校司書が行う。 内容：図書室の使い方
御所ヶ丘小学校	あり	まつぼっくり 12名程度 読み聞かせ	あり	全学年へ実施	全学級 授業1コマ 学校司書による図書室の使い方の授業
郷州小学校	あり	PTA有志、6人、月1回の読み聞かせ、4月	あり	全学年へ実施	全学年対象、1時間、図書館司書が担当、図書室の使い方（本の借り方・返し方）や約束や日本十進分類法の説明等
松前台小学校	なし		あり	1年生と希望の学年クラスへ実施	1年生と希望学年対象 1時間 学校司書が担当、使い方・分類の仕方等
松ヶ丘小学校	あり	よむZO 読み聞かせ 本校創立時より	あり	全学年へ実施	各学級毎の図書の時間に。45分 学校司書が担当。図書室の使い方及び国語の単元を加味した内容
守谷中学校	なし		あり	1年生のみ実施	1年生対象 学年全体で1時限（1クラス10分程度 クラスごとに来室） 学校司書が図書室の概要・利用の仕方・注意事項などをプリントを配り図書室で説明
愛宕中学校	なし		あり	1年生のみ実施	1年生対象 50分 学年の国語科が担当 図書室の使い方
御所ヶ丘中学校	なし		あり	1年生のみ実施	中学1年生を対象に1時間程度。学校司書が図書室の使い方や、本を借りる・返す手順について説明する。
けやき台中学校	なし		なし	1年生のみ実施	1年生対象 1時間 学校司書と国語科教員が担当 図書室の使い方、読書の記録書き方など

子ども読書活動実施施設に関するアンケート調査（学校）

学校名	10 広報活動を行っていますか？	11 どのような広報活動を実施していますか？ 例）おすすめの本の紹介、図書だより等	12 市図書館をどのように活用していますか？	13 市図書館にどのような支援を望みますか？
大井沢小学校	実施	図書委員のおすすめの本の紹介やポップ作り、スタンプリヤブックパックなどのイベント告知のための校内放送、図書室からたくさん本を借りた人ランキングの発表(校内放送)	団体貸出	ブックパック、ブックトーク、相互利用、団体貸出
大野小学校	実施	おすすめ本の紹介、図書だより	団体貸出	今のところありません
高野小学校	実施	図書委員会で月1回図書だより発行 児童集会(読書大好き集会) お昼の放送(おすすめの本の紹介や図書委員会のイベントや新書の紹介など)	団体貸出, ブックトーク, 読み聞かせ	今後も学校との円滑な連携
守谷小学校	実施	司書によるおすすめ本の紹介 図書委員会による図書だより 給食時の放送で、おすすめの本紹介 館内各所におすすめの本のポップアップ展示	ブックパック	ブックパックの増冊
黒内小学校	実施	館内でポップ掲示・図書便り（ポータルサイトにて各学年ごと）	団体貸出	児童数増加に伴い、読み物の本を貸し出ししていただきたい。（学級用）
御所ヶ丘小学校	実施	おすすめの本、放送による呼びかけ	団体貸出, ブックトーク	特にありません。
郷州小学校	実施	本の紹介、図書だより、図書館クイズ、校内放送でイベント等の告知	団体貸出	ブックパック、団体貸出、相互利用
松前台小学校	実施	図書便り	団体貸出	
松ヶ丘小学校	実施	図書新聞 放送で告知 職員会議で連絡	団体貸出, ブックトーク	子どもたちに 今まで通り本の楽しさを伝えてほしい。図書館運営に関する助言。
守谷中学校	実施	図書便りの発行：図書室内、学年掲示板に掲示 新しく入った本の案内掲示 行事、季節ごとにテーマを設定し見出しを付けて書籍を展示 図書委員会によるポスター（読書活動推進）作成、掲示	団体貸出, 相互利用・ビブリオバトルの支援（講師）	引き続き 相互利用などにおける資料の貸出 ビブリオバトルなどにおける助言、支援など
愛宕中学校	実施	おすすめの本の紹介、図書だより		ビブリオバトルの指導計画の作成、ビブリオバトルの開催時期の再設定
御所ヶ丘中学校	実施	おすすめの本紹介カード、課題図書の紹介ポスターの作成、新着本や季節の行事ごとの本の紹介、ビブリオバトルについて	団体貸出	例年通り、団体貸出やビブリオバトルについての研修
けやき台中学校	未実施		団体貸出	ビブリオバトルの実演指導など

子ども読書活動実施施設に関するアンケート調査（学校）

学校名	14 日頃、学校図書館を利用してもらうため、どのような事を実施していますか？	15 「子ども読書週間」、「読書週間」に実施している取り組み
大井沢小学校	借りた本が多い人を学年末に表彰したりしている。(毎年) 秋にイベント(昨年度はスタンプラリー)を実施している。	読書週間にスタンプラリーを実施した。
大野小学校	学校図書館司書と連携を取り、各教科などで必要な図書の準備・活用 調べ学習での利用 新刊本の紹介 50冊達成者の掲示 時間割の中で図書館利用学年の割り振り	おすすめの本の紹介
高野小学校	委員会の児童を中心に、おすすめの本を紹介したり、本に関するイベントを実施しています。	図書だよりで紹介したり、読書スタンプラリーを実施しています。
守谷小学校	司書によるシーズンごとのテーマ本、こどもの本総選挙の本の展示、新聞記事をテーマ別に収集、ファイルに保存、学校で所蔵しているシリーズ本の目録の作成 図書委員会による図書ビンゴ、しおりのプレゼント	ポスターの掲示
黒内小学校	・クラス利用ができるように時間割に割り当てを行っている。 ・ランキングなどを配付。 ・ポスター掲示	なし
御所ヶ丘小学校	図書室予約表の作成・利用（授業の時間にも使えるように） 読書貸出数に応じてのしおり贈呈 ビブリオバトル 図書委員会による低学年への読み聞かせ	特にありません
郷州小学校	イベント（おすすめポップ展示会、おすすめオーナメントカード展示会、ぶっくじ&ポイントカード） 毎月おすすめの本コーナーを設置（2021年2月～7月は、改修工事のためお休み） 書架の見出し表示板を使用	読書週間に合わせてイベントを実施。 （2020年は、ポップ展示会）
松前台小学校	読み聞かせ 国語での本の紹介	読書週間
松ヶ丘小学校	児童図書委員会の活動として 図書新聞の発行、放送、読書スタンプラリーなどの啓発活動。児童や教職員への呼びかけ。	読書週間に 読書ビンゴなどの 活動。 読書週間に関する告知（放送）
守谷中学校	月ごとに貸出ランキング発表 人気本のランキング発表 数週間～1ヶ月ごとにテーマ展示、おすすめ本展示 ポスター展示 本の帯 展示	子ども読書週間 本のリクエスト募集（年間を通じて行うがリクエスト用紙を配布） 読書週間（10月～11月） ビブリオバトルの実施
愛宕中学校	校内広報活動	
御所ヶ丘中学校	おすすめの本紹介カードの掲示、課題図書の紹介ポスターの作成、新着本の定期購入、各種検定や職場体験に関する本の設置	図書室のお知らせコーナーでのポスター掲示
けやき台中学校	委員会活動で本の帯やおすすめ本の紹介などの掲示物を掲示する。	おすすめ本の紹介ポスターなどの作成

子ども読書活動実施施設に関するアンケート調査（学校）

学校名	16 司書教諭の現状と課題などを教えてください。	17 子どもの読書活動推進について意見・要望をお聞かせください。
大井沢 小学校	引き続きコロナ禍ではあるが、感染症対策をしながら学校図書館が運営できるように工夫している。学校司書と連携を取って時代に合った選書をしたり、子どもたちに多くの本に触れられる機会を与えたりして、本に触れることで生活が豊かになるように支援していきたい。	教科書内容に沿ったブックパックの貸出サービスがあると、学びが広がり、調べ学習でも利用しやすいと思います。
大野 小学校	学校図書館司書の先生にお任せしているが、常に連携を取るようにはしている。 放課後に会える時間がなく、なかなか打合せの時間の確保が難しい。	
高野 小学校	放課後の少ない時間で打ち合わせをしたり、交換ノートで情報を共有したりしています。	中央図書館や学校図書館で、様々な種類の本が借りられて授業で活用できるので、子どもたちも大変喜んでいます。
守谷 小学校	他業務が忙しいため、なかなか司書教諭業務に従事できない。	本好きな児童が多いので、学級で手軽に読める学級文庫が充実できるとよい。（学級文庫の本が古いので、新しものがあるとよい。児童数が多いので、ブックパックの冊数がもっとあるとよい）
黒内 小学校	連絡ノートで連絡をとり共通理解をはかっている。	要望・意見として子どもたちの貸出カードが学校でも中央図書館でも1枚あれ使える・借りられるようになればと考えております。 中央公民館の図書室が黒内小学校の第二図書室として兼用できると、嬉しいです。
御所ヶ丘 小学校	学校司書によるサポートにより、選書や図書室の利用、その他の活動などつつがなく行えています。	特にありません。
郷州 小学校	現状 図書館司書と毎日連絡ノートを使って連携を図っている。 課題 学校図書館の仕事にかかわる時間がなかなかとれない。	
松前台 小学校	委員会児童への指導や図書便り作成など意欲的に取り組んでくださっている。	
松ヶ丘 小学校	他の校務分掌との兼ね合いで 資格をもっている最適任者が 担当できない場合がある。選書の時間が十分に取れない。	読書に苦手意識のある子どもに 読書の楽しさを伝える方策等を 研修したい。

子ども読書活動実施施設に関するアンケート調査（学校）

学校名	16 司書教諭の現状と課題などを教えてください。	17 子どもの読書活動推進について意見・要望をお聞かせください。
守谷 中学校	<p>図書室に行くのを楽しみにしている生徒が見られる 図書館便りによる啓発やランキングにより読書意欲を高めてくれている</p> <p>さまざまな分野の本や生徒が興味を持つ本を整備してくれている</p> <p>ビブリオバトルでは教師とは違う側面からアドバイスや講評をしてくださり生徒にとって良い学習となった。</p> <p>総合的な学習や道德の資料など学習支援（資料探しや学習に必要な本の選定）などもお願いしていきたい。</p>	<p>本を読む子と全く読まない子の差が大きい。</p> <p>少しでも本を手にとる機会を設ける工夫をしていきたい。</p> <p>本を楽しむ気持ちを育てたい。</p>
愛宕 中学校	勤務時間外の活動になること	
御所ヶ丘 中学校	<p>授業、学級担任、部活動顧問とあるため、なかなか図書室に行くことはできないため、学校司書の方に頼りがちになっている。学校司書の方とは、メモや直接やり取りし、連携を図っている。</p>	<p>学級文庫やブックバックを設置しても特定の生徒しか読んでいない。読書離れしている生徒たちにどう読書活動を推進していけばいいでしょうか。</p>
けやき台 中学校	<p>他の業務と重なり、なかなか学校司書との打ち合わせができないことがあるが、どの学校でも同じ課題を持っていると思う。</p>	<p>生徒が選ぶ本は読みやすいライトノベルに偏る傾向がある。さまざまな作品と出会えるような工夫をしたいと思う。</p>

3 子どもの読書活動の推進に関する法律

（平成13年法律第154号）

（目的）

第1条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

（基本理念）

第2条 子ども（おおむね18歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

（国の責務）

第3条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

（地方公共団体の責務）

第4条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

（事業者の努力）

第5条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

（保護者の役割）

第6条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

（関係機関等との連携強化）

第7条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

（子ども読書活動推進基本計画）

第8条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

（都道府県子ども読書活動推進計画等）

第9条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

（子ども読書の日）

第10条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、4月23日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

（財政上の措置等）

第11条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

6 子どもの読書活動の推進に関する法律に対する衆議院文部科学委員会における附帯決議

政府は、本法施行に当たり、次の事項について配慮すべきである。

- 1 本法は、子どもの自主的な読書活動が推進されるよう必要な施策を講じて環境を整備していくものであり、行政が不当に干渉することのないようにすること。
- 2 民意を反映し、子ども読書活動推進基本計画を速やかに策定し、子どもの読書活動の推進に関する施策の確立とその具体化に努めること。
- 3 子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、本と親しみ、本を楽しむことができる環境づくりのため、学校図書館、公共図書館等の整備充実に努めること。
- 4 学校図書館、公共図書館等が図書を購入するに当たっては、その自主性を尊重すること。
- 5 子どもの健やかな成長に資する書籍等については、事業者がそれぞれの自主的判断に基づき提供に努めるようにすること。
- 6 国及び地方公共団体が実施する子ども読書の日の趣旨にふさわしい事業への子どもの参加については、その自主性を尊重すること。

第四次守谷市子ども読書活動推進計画

発行年月 令和4年 月

発 行 守谷市教育委員会

編 集 守谷中央図書館

〒302-0116

茨城県守谷市大柏 937-2

電話番号 (0297) 45-1000

F A X (0297) 45-7500

Eメール library@city.moriya.ibaraki.jp